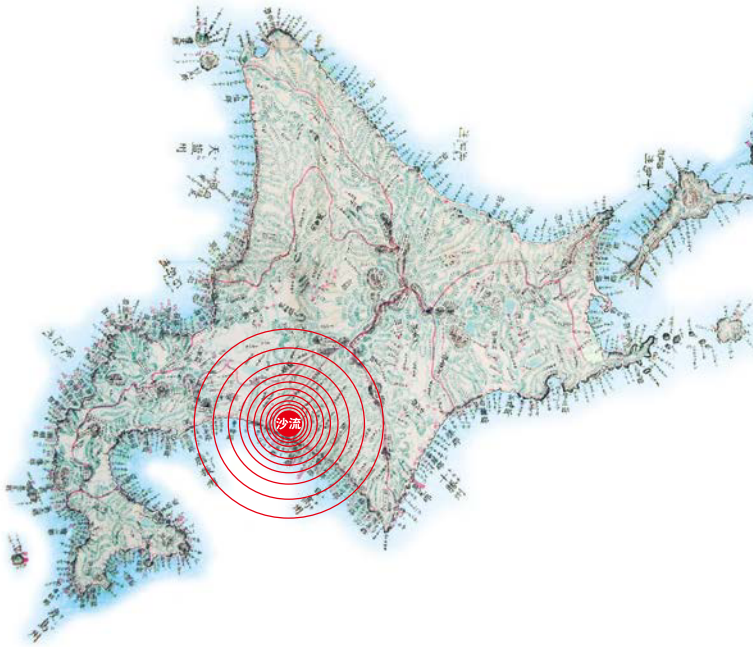
初級

アイヌ語

沙流

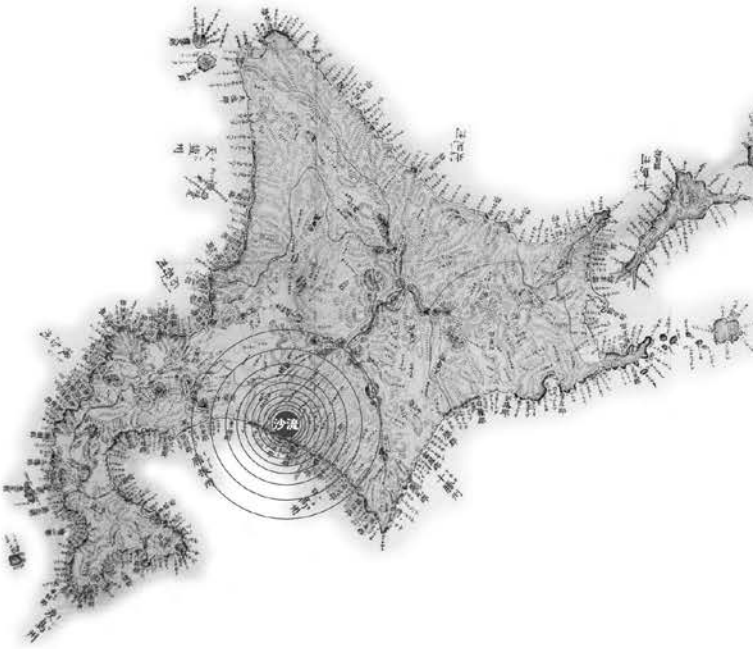


公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

初級

アイヌ語

沙流



公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

このテキストについて

当公益財団では、2010 年度にアイヌ語千歳方言、美幌方言、幌別方言の教科書を作成しました。2011 年度は、前年度に作成された教科書を踏襲しつつ改良を加え、静内方言、釧路・白糠方言、十勝方言の教科書を新たに作成しました。今年度は更に、石狩川方言、沙流方言、カラフト方言の教科書を作成しました。

編集方針

このテキストは、アイヌ語を読んで、書いて、簡単な文法がわかるなど、アイヌ語の基礎を学ぶことを目的に作成しました。難しい用語はなるべく使わず、どうしても必要な場合には説明をくわえました。

文法の学習に加え、「なぞなぞ」や「となえごと」などの伝統的な言葉あそびや、よく知られた童謡のアイヌ語訳を掲載しています。副教材としてカルタも添え、さまざまな角度から、楽しみながら言葉を身につけられるようにしています。

アイヌ語にはさまざまな方言があり、生活習慣も地域によって多少違います。そうした他地域の言葉・文化に関心をもち、自分の地域についてもよく知るきっかけとなるよう、必要に応じて他方言についても解説しています。

例文と単語について

本書『初級アイヌ語－沙流－』の本編の例文と単語は、日高地方の沙流川流域（平取町および日高町）のアイヌ語話者たちによって残された数々の資料に基いています。詳しくは巻末の参考文献をご覧ください。アイヌ語話者による発話をそのまま採用しているものもありますが、文例はこの教材用に新たに作文したものが大部分です。また、沙流方言と非常に似ている千歳方言の資料も参照しました。

音声について

アイヌ語の発音は日本語と異なっており、特に難しいところは、音声を聞きながら学習する必要があります。この本を教室等で利用するほか、家庭でも利用できるように、例文や単語、言葉あそび、歌などの音声を収録しました。収録に協力してくださったのは、普段は日本語で生活し、アイヌ語は学習によって身につけた方々です。一般に言葉を学ぶときには、もともとその言葉を使っている方から教わるのがよいとされており、これはアイヌ語においても同じことがいえます。しかし、そうしたアイヌ語の発音に触れる機会が少ない中で、最初の手がかりになればという考えから、音声を用意しました。

この本を通じてアイヌ語に関心を持たれた方は、『中級編』に進んでみてください。さらに学習を進めたい方は、これまでに出版されたより専門的な解説書や視聴覚教材を参照されることをおすすめします。

この本を編集する過程で多くの方にご指導を頂きました。記してお礼申し上げます。

【例文·単語】
太田満（石狩川方言）、大野徹人（沙流方言）、北原次郎太（カラフト方言）
高橋靖以（執筆協力）
【文法解説】
太田満（石狩川方言）、大野徹人（沙流方言）、北原次郎太（カラフト方言）
高橋靖以（執筆協力）
【言葉遊び·歌】
北原次郎太
【音声収録（五十音順）】
太田奈々、加納ルミ子、川上さやか、川村久恵、杉村フサ、竹内隼人、
豊川容子、中井貴規、八谷麻衣、山道ヒビキ、山道陽輪、山本りえ
【イラスト】
小笠原小夜、椎名庵

凡例

・本書のアイヌ語の表記は、主に『アコロ　イタㇰ』（北海道ウタリ協会、1994）の表記法に基づいています。ただし、いくつか異なる点があります。詳しくは「音節表」を参照してください。

・例文は全てカタカナ･ローマ字･逐語訳の併記としました。

・カタカナ表記は実際の発音をわかりやすく示すことを意図したものです。一方、ローマ字表記は、辞書検索がしやすいように、個々の語を境界ごとに区切って示しました。

・アクセントを説明する際、アクセントの位置を＿で示しました。また、ローマ字は必要に応じて á や í のように、アクセントを示す記号で示しました。

・ローマ字表記において、人称接辞の境界を＝で示しました。

初級アイヌ語　－沙流－　目次

序文 …… 2

凡例 …… 5

音節表 …… 10

1　アイヌ語の表現を覚えて使おう…12

2　発音とアクセント1
（開音節）…… 14

単語を覚えよう1
～時間を表す言葉～…… 16

言葉遊びで覚えよう1…… 17

3　発音とアクセント2
（閉音節）…… 18

4　発音とアクセント3
（アクセントの原則と例外）…… 20

単語を覚えよう2
～空間を表す言葉～ …… 22

言葉遊びで覚えよう2…… 23

5　発音とアクセント4
（閉音節＋開音節）…… 24

6　文のかたち1
「～が…する」という表現…… 26

単語を覚えよう3
～陸の生き物の名前～ …… 28

言葉遊びで覚えよう3…… 29

7　文のかたち2
「～が…しない」
否定の表現 …… 30

8　文のかたち3
「～は～だ」
という表現 …… 32

単語を覚えよう4
～川や海の生き物の名前～ …34

言葉遊びで覚えよう4…… 35

9　文のかたち4
「～は…か？」
疑問の表現1 …… 36

10　文のかたち5
「～は…のだ」
断定の表現 …… 38

単語を覚えよう5
～鳥の名前～ …… 40

言葉遊びで覚えよう5…… 41

11　文のかたち6
感嘆の表現 …… 42

12　文のかたち7
「…しなさい、…するな」
命令・禁止の表現 …… 44

単語を覚えよう6
～食用植物の名前～……46

言葉遊びで覚えよう6……47

13　人称について学ぶ1
「私が…する」
の表現……48

14　人称について学ぶ2
「あなたが・あなたたちが…する」
の表現……50

単語を覚えよう7
～木の名前～……52

言葉遊びで覚えよう7　……53

15　人称について学ぶ3
「私たちが…する」の表現1……54

16　人称について学ぶ4
「私たちが…する」の表現2……56

単語を覚えよう8
～料理に関する言葉～……58

言葉遊びで覚えよう8……59

17　人称について学ぶ5
「私を・私たちを…する」
の表現……60

18　人称について学ぶ6
「私たちを(に)…する」
の表現2……62

単語を覚えよう9
～衣服などの名前～……64

言葉遊びで覚えよう9……65

19　人称について学ぶ7
「あなたを・あなたたちを…する」
の表現……66

20　人称について学ぶ8
「私たちが…する」の表現3……68

単語を覚えよう10
～家に関する言葉～……70

言葉遊びで覚えよう10……71

21　人称について学ぶ9
「私たちが…する」の表現4……72

22　「～で」「～に」
位置を表す格助詞 ……74

単語を覚えよう11
～山や海に関する言葉～……76

言葉遊びで覚えよう11……77

23　数に関する表現1
(数連体詞、個数、11以上)……78

24 数に関する表現2
（日数、年数、人数、回数など）…80

単語を覚えよう12
～天候に関する言葉～……82

言葉遊びで覚えよう12 ……83

25 動詞の単数・複数……84

26 疑問詞を用いた
疑問表現1……86

単語を覚えよう13
～儀礼に関する言葉～……88

言葉遊びで覚えよう13 ……89

27 疑問詞を用いた
疑問表現2……90

28 「～の…」所有の表現1 ……92

単語を覚えよう14
～手仕事に関する言葉～……94

言葉遊びで覚えよう14 ……95

29 「～の…」所有の表現2……96

30 「…できる」「…できない」
「…したい」の表現 ……98

単語を覚えよう15
～伝統芸能に関する言葉～…100

言葉遊びで覚えよう15 ……101

31 「…して…する」
動作をつなぐ表現1 ……102

32 「…しながら…する」
動作をつなぐ表現2 ……104

参考文献……106

アイヌ語（北海道方言）の音節（カタカナ表記）

【母音】

ア	イ	ウ	エ	オ

【子音＋母音】

カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ
タ		ド（トゥ）	テ	ト
チャ	チ	チュ（ツ）	チェ	チョ
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
パ	ピ	プ	ペ	ポ
マ	ミ	ム	メ	モ
ヤ	イ	ユ	イェ	ヨ
ラ	リ	ル	レ	ロ
ワ		ウ	ウェ	ウォ

【母音＋子音】

アク	イク	ウク	エク	オク
アシ（アス）	イシ（イス）	ウシ（ウス）	エシ（エス）	オシ（オス）
アッ	イッ	ウッ	エッ	オッ
アン	イン	ウン	エン	オン
アプ	イプ	ウプ	エプ	オプ
アム	イム	ウム	エム	オム
アイ		ウイ	エイ	オイ
アラ（アル）	イリ（イル）	ウル	エレ（エル）	オロ（オル）
アウ			エウ	オウ

【子音（例としてカ行の音）＋母音＋子音】

カク	キク	クク	ケク	コク
カシ（カス）	キシ（キス）	クシ（クス）	ケシ（ケス）	コシ（コス）
カッ	キッ	クッ	ケッ	コッ
カン	キン	クン	ケン	コン
カプ	キプ	クプ	ケプ	コプ
カム	キム	クム	ケム	コム
カイ		クイ	ケイ	コイ
カラ（カル）	キリ（キル）	クル	ケレ（ケル）	コロ（コル）
カウ	キウ		ケウ	コウ

＊（　）で示した音節は、単語によって固定されていたり、実際の発音を聞くと、同じ単語でも二つの発音が聞かれる音節です。

アイヌ語（北海道方言）の音節（ローマ字表記）

【母音】

a	i	u	e	o

【子音＋母音】

ka	ki	ku	ke	ko
sa	si	su	se	so
ta		tu	te	to
ca	ci	cu	ce	co
na	ni	nu	ne	no
ha	hi	hu	he	ho
pa	pi	pu	pe	po
ma	mi	mu	me	mo
ya	yi	yu	ye	yo
ra	ri	ru	re	ro
wa		wu	we	wo

【母音＋子音】

ak	ik	uk	ek	ok
as	is	us	es	os
at	it	ut	et	ot
an	in	un	en	on
ap	ip	up	ep	op
am	im	um	em	om
ay		uy	ey	oy
ar	ir	ur	er	or
aw	iw		ew	ow

【子音（例としてK）＋母音＋子音】

kak	kik	kuk	kek	kok
kas	kis	kus	kes	kos
kat	kit	kut	ket	kot
kan	kin	kun	ken	kon
kap	kip	kup	kep	kop
kam	kim	kum	kem	kom
kay		kuy	key	koy
kar	kir	kur	ker	kor
kaw	kiw		kew	kow

ステップ1　アイヌ語の表現を覚えて使おう

アイヌ語の勉強をはじめるにあたって、基本的なあいさつの表現を勉強しましょう。

（例文）

【人に会った時に】

1. **エイワンケ　　ヤ？**

E=iwanke　　ya?
あなた・元気だ　か
「あなたは元気ですか？」

2. **クイワンケ　　ワ。**
Ku=iwanke　wa.
私・元気だ　　よ
「私は元気です」

3. **アイヌイタク　アイェ　　ロ！**
Aynuiak　　a=ye　　ro!
アイヌ語　　私たち・話す　しよう
「アイヌ語を話しましょう！」

【人と別れる時に】

4. **アプンノ　パイェ　ヤン。**
Apunno　paye　yan.
「つつがなく行ってください（さようなら）」
※立ち去る人に見送る人が言う言葉

5. **アプンノ　オカ　ヤン。**
Apunno　oka　yan.
「つつがなくいてください（さようなら）」
※見送る人に立ち去る人が言う言葉

6. **スイ　ウヌカラアン　ロ！**
Suy　unukar=an　ro!
また　会う・私たち　ましょう
「また会いましょう！」

その他、よく使う天候に関する表現も覚えましょう。

タント　アプト　アシ。
Tanto　apto　as.
「今日は雨が降る」

タント　レラ　ユプケ。
Tanto　rera　yupke.
「今日は風が強い」

タント　ウパシ　アシ。
Tanto　apto　as.
「今日は雨が降る」

タント　シリピリカ。
Tanto　sirpirka.
「今日は天気がいい」

ステップ2　発音とアクセント1（開音節）

アイヌ語の発音について、主にカタカナ表記に基づいて説明します。「音節表」を見ながら、ひとつひとつ順番に発音してみましょう。

1．ア行からサ行

ア行からサ行までを発音してみましょう。

アイエオの発音は日本語（共通語）とほぼ同じですが、ウの音だけは日本語よりもやや口の奥で発音されます。

なお、カタカナ一文字の発音で、単語がつくられる場合もあります。

ア a	イ i	ウ u	エ e（食べる）	オ o（入る）
カ ka（糸）	キ ki（する）	ク ku（飲む）	ケ ke（削る）	コ ko（粉）
サ sa（手前）	シ si（大便）	ス su（鍋）	セ se（背負う）	ソ so（滝）

2．タ行からナ行

タ行からナ行までを発音してみましょう。

タ行は、日本語のタチツテトとは少し異なります。チ ci は、タ行ではなく、チャ行に属します。また、日本語にはみられないト゛という音があります。「ト゛」は「トゥ」と書かれることもよくあります。

チュを「ツ」と発音する人も時々います。

タ ta（掘る）		ト゛ tu	テ te（ここ）	ト to（湖）
チャ ca（刈る）	チ ci（熟す）	チュ cu	チェ ce	チョ co
ナ na	ニ ni（木）	ヌ nu（聞く）	ネ ne（である）	ノ no

3．ハ行とパ行

ハ行とパ行を発音してみましょう。

ハ ha	ヒ hi（～こと）	フ hu（生である）	ヘ he（～なのか）	ホ ho（はい）
パ pa（年）	ピ pi（種）	プ pu（倉）	ペ pe（もの）	ポ po（子）

４．マ行からワ行

マ行からワ行までを発音してみましょう。

　イェ、ウェ、ウォの三つは日本語にはない発音です。イ・エ、ウ・エ、ウ・オのように二つに区切って発音しないように注意してください（ヤ行のイ、ワ行のウは限られた場合にしか出てきません。

マ ma（泳ぐ）	ミ mi（着る）	ム mu（つまる）	メ me	モ mo（静かだ）
ヤ ya（陸）	イ yi	ユ yu（温泉）	イェ ye（言う）	ヨ yo
ラ ra（低い所）	リ ri（高い）	ル ru（道）	レ re（名前）	ロ ro(～しよう)
ワ wa（～から）		ウ wu	ウェ we	ウォ wo

５．濁音（有声音）について

　アイヌ語では、**サンケ**を**サンゲ**と発音したり、**ハポ**を**ハボ**と発音したり、濁った音（濁音）も時々聞かれますが、それで意味が変わることはありません。地方や個人によりますが、清音で発音されることも多く、書く時も通常、清音で代表させて表記します。ローマ字では、b, d, g などの有声子音は使いません。

単語を覚えよう１　～時間を表す言葉～

1.	パ	pa	「年」
2.	チュプ	cup	「月」
3.	ト	to	「日」
4.	タント	tanto	「今日」
5.	ニサッタ	nisatta	「明日」
6.	ヌマン	numan	「昨日」
7.	クンネイワ	kunneywa	「朝」
8.	トノシキ	tónoski	「昼、正午」
9.	オヌマン	onuman	「夕方」
10.	アンノシキ	annoski	「夜中」

言葉遊びで覚えよう 1

◇発音練習の歌（沙流方言）

サㇰパ
sakpa
夏の半年

サㇷ゚テ
sapte
～が～を出す（複数）

サッケ
satke
～が～を干す

ルㇷ゚
rup
氷

ムイェ
muye
～が～を束ねる

ヌイェ
nuye
～が～を彫る

スウェ
suwe
～が～を煮る

フㇺ
hum
音

パイェ
paye
～が行く（複数）

ライェ
raye
～が～を押しやる

ペッ
pet
川

ホントㇺ
hontom
～の中ほど

ウッカ
utka
浅瀬

アッニ
atni
オヒョウの木

オッケ
otke
～が～を突く

ノㇰ
nok
卵

ポㇷ゚ケ
popke
暖かい

ムッケ
mutke
隠れた

チャㇰピヤㇰ
cakpiyak
踊り歌の囃し

イウォㇲ
iwor
狩り場

ヌウェ
nuwe
～が～を掃く

カッケマッ
katkemat
淑女

☆アイヌ語の中でも発音が難しいものを集め「キラキラ星」のメロディに乗せて歌えるように並べました。発音に自信が無い方は学習の前に歌ってみてください。

（作成：北原次郎太）

ステップ3　発音とアクセント2（閉音節）

音節表の続きを見ながら、発音してみましょう。

1．アイウエオと小さいクを組み合わせた行

アイウエオと小さいクを組み合わせた行を発音してみましょう。まず、アッカ、イッキ、ウック、エッケ、オッコと発音し、次に最後のカキクケコを言わないつもりで発音すると、これらの音に近い音が出ます。練習の際には、**アク**ならばアックのアッで止めることを特に意識して練習してみてください。

アク ak（弟）　**イク** ik（ふし）　**ウク** uk（取る）　**エク** ek（来る）　**オク** ok

2．アイウエオと小さいシを組み合わせた行

アイウエオと小さいシを組み合わせた行を発音してみましょう。まず、アッシ、イッシ、ウッシ、エッシ、オッシと発音し、次に最後のシだけを言わないつもりで発音すると、これらの音に近い音が出ます。

アシ as（立つ）　**イシ** is　**ウシ** us（つく）　**エシ** es　**オシ** os（あとで）

また、**アシ**を**アス**、**ウシ**を**ウス**というように発音することもよくあります。

3．アイウエオと小さいツを組み合わせた行

アイウエオと小さいツを組み合わせた行を発音してみましょう。まず、アッタ、イッチ、ウッツ、エッテ、オットと発音し、次に最後のタチツテトだけを言わないつもりで発音すると、これらの音に近い音が出ます。練習の際には、アッならばアッタのアッで止めることを特に意識して練習してみてください。

アッ at（たちこめる）　**イッ** it　**ウッ** ut　**エッ** et　**オッ** ot

4．アイウエオとンを組み合わせた行

アイウエオとンを組み合わせた行も発音してみましょう。ア・ン、イ・ン、ウ・ン、エ・ン、オ・ンと区切って発音しないように注意してください。

アン an（ある）　**イン** in　**ウン** un（ある）　**エン** en　**オン** on

5．アイウエオと小さいプを組み合わせた行

アイウエオと小さいプを組み合わせた行を発音してみましょう。まず、アッパ、イッピ、ウップ、エッペ、オッポと発音し、次に最後のパピプペポだけを言わないつもりで発音すると、これらの音に近い音が出ます。練習の際には、**アプ**ならばアッパのアッで止めることを特に意識して練習してみてください。

アプ ap（鉤）　**イプ** ip　**ウプ** up（白子）　**エプ** ep　**オプ** op（槍）

６．アイウエオと小さいムを組み合わせた行

アイウエオと小さいムを組み合わせた行を発音してみましょう。まず､アンマ、インミ、ウンム、エンメ、オンモと発音し、次に最後のマミムメモだけを言わないつもりで発音すると、これらの音に近い音が出ます。

アム am（爪）　**イム** im　**ウム** um　**エム** em　**オム** om（もも）

７．アイウエオとイを組み合わせた行

アイウエオとイを組み合わせた行も発音してみましょう。ア･イ、ウ･イ、エ･イ、オ・イと区切って発音しないように注意してください。

アイ ay（矢）　**ウイ** uy　**エイ** ey　**オイ** oy

８．アイウエオと小さいラリルレロを組み合わせた行

アイウエオと小さいラリルレロを組み合わせた行を発音してみましょう。小さいラリルレロは、日本語のラ行の音のようなはっきりとした音ではなく前に来る音によって違う音に聞こえる音です。

アラ ar（片側の）　**イリ** ir　**ウル** ur　**エレ** er　**オロ** or（中）

この小さいラリルレロの発音は、地方や人によってかなり異なります。**モコロ** mokor（眠る）が**モコル**と発音されることもよくありますし、**アラパ** arpa（行く）が**アルパ**と発音されることもよくあります。また人によっては、はっきり**モコロ** mokoro･**アラパ** arapa のように母音をつけてはっきり発音されることもあります。文字には必ずしもこだわらず、実際の音をたくさん聞いて感覚をつかんでください。

９．アイウエオとウを組み合わせた行

アイウエオとウを組み合わせた行も発音してみましょう。ア･ウ、イ･ウ、エ･ウ、オ・ウと区切って発音しないように注意してください。

アウ aw（内側）　**イウ** iw　**エウ** ew　**オウ** ow

ステップ4　発音とアクセント3（アクセントの原則と例外）

アイヌ語には、アクセントの区別があります（アクセントの区別がはっきりしない方言もあります）。
アイヌ語のアクセントは、日本語（共通語）と同じように、ある音を高く発音するか、低く発音するかによって区別されます。
以下の単語のアクセントを確かめてみましょう。

カ　ka「糸」

ソ　so「滝」

ト　to「湖」

これらの単語は、カタカナ一文字の発音でつくられています。このような場合、そのカタカナで表される音は高く発音されます。
次に、以下の単語のアクセントを確かめてみましょう。

ワッカ	wákka	「水」	⇒ アクセントは「**ワッ**」にあります。
オシケ	óske	「中」	⇒ アクセントは「**オシ**」にあります。
シンリッ	sínrit	「根」	⇒ アクセントは「**シン**」にあります。
アイヌ	áynu	「人間」	⇒ アクセントは「**アイ**」にあります。
ケウト゛ム	kéwtum	「心」	⇒ アクセントは「**ケウ**」にあります。

これらの単語では、先頭から二番目の音は、小さいカタカナで表される音（または**ン** n、**イ** y、**ウ** w）となっています。このような場合は、一番目から二番目にかけての音が高く発音されます。
さらに、以下の単語のアクセントを確かめてみましょう。

アペ	apé	「火」	⇒ アクセントは「**ペ**」にあります。
サパ	sapá	「頭」	⇒ アクセントは「**パ**」にあります。
ケマ	kemá	「足」	⇒ アクセントは「**マ**」にあります。
カムイ	kamúy	「神」	⇒ アクセントは「**ムイ**」にあります。
ヘカチ	hekáci	「子供」	⇒ アクセントは「**カ**」にあります。

これらの単語では、先頭から二番目の音は、小さいカタカナで表される音（または**ン** n、**イ** y、**ウ** w）ではありません。このような場合は、二番目（または二番目から三番目にかけて）の音が高く発音されます。

最後に、以下の単語のアクセントを確かめてみましょう。

ウナ	úna	「灰」	⇒ アクセントは「**ウ**」にあります。
カネ	káne	「金属」	⇒ アクセントは「**カ**」にあります。
ケラ	kéra	「味」	⇒ アクセントは「**ケ**」にあります。
フラ	húra	「匂い」	⇒ アクセントは「**フ**」にあります。
レラ	réra	「風」	⇒ アクセントは「**レ**」にあります。

これらの単語の先頭から二番目の音は、小さいカタカナで表される音（または**ン** n、**イ** y、**ウ** w）ではありません。しかし、これらの単語では、例外的に、一番目の音が高く発音されます。このような例外的なアクセントをもつ単語については、個々にアクセントを覚える必要があります。

単語を覚えよう２　～空間を表す言葉～

1.	カ	ka	「（接触して）上」
2.	チョロポク	corpok	「…の下」
3.	コッチャ	kotca	「（静止しているものの）前」
4.	エトク	etok	「（動いているものの）前」
5.	オシマク	osmak	「（静止しているものの）後」
6.	オカ	oka	「（動いているものの）後」
7.	シモン	símon	「右の」
8.	ハラキ	harki	「左の」
9.	オンナイ	onnay	「（中空のものの）中」
10.	ソイ	soy	「外」

言葉遊びで覚えよう 2

阿寒地方

◇大雨が降ったときのとなえごと

　大雨が続いて困ったときに、ザルの端にポンシトゥイナウを立て、トシリ カタ（川の土手の上に）に立て、次のようにチャランケをします。天気のいい日に生まれ た人が行うとされていました。

ルアンペアシテカムイ	タンペ	オシケ	ポロンノ	ワッカ	オ	チキ
ruanpeastekamuy	tanpe	oske	poronno	wakka	o	ciki
雨を降らせる神様	これの	中	たくさん	水	たまる	なら

パクノ	アシ	チキ	ネアンペ	ピリカ	コロカイキ
pakno	as	ciki	neanpe	pirka	korkayki
そこまで降るなら			それは	いい	けれども

タンペ	オシケ	ワッカ	コイサム	チキ	ルアンペ	オアッサム	クニ
tanpe	oske	wakka	koysam	ciki	ruanpe	oassam	kuni
これの	中	水	ない	なら	雨	すっかり無くなる	ように

ルアンペアシテカムイ	ピリカノ	ヤイコサンニヨ	ワ	ルアンペアシテ。(アニ)
ruanpeastekamuy	pirkano	yaykosanniyo	wa	ruanpeaste. (ani)
雨を降らせる神様	よく	考え	て	雨降らせなさい（と）

（語り手:舌辛音作さん）

☆このまじないを収録するにあたり日本放送協会『アイヌ伝統音楽』を参照しました。

ステップ5　発音とアクセント4（閉音節＋開音節）

小さいカタカナ、またはンで表される発音の後に、別の音が続く場合があります。以下の単語で、発音の練習をしてみましょう。

1．小さい「ク」の音の後ろに、別の音が続く場合

サクマ	sakma	「横木」
エクテ	ekte	「来させる」
トクセトクセ	toksetokse	「ドキドキする」

2．小さい「シ」の音の後ろに、別の音が続く場合

ニシテ	niste	「硬い」
イルシカ	iruska	「怒る」
イカシマ	ikasma	「余る」

3．小さい「ッ」の音の後ろに、別の音が続く場合

サッケ	satke	「乾かす」
チョッチャ	cotca	「射る」
フッネ	hutne	「狭い」

4．「ン」の音の後ろに、別の音が続く場合

イラマンテ	iramante	「狩りをする」
ランケ	ranke	「下ろす」
モンライケ	monrayke	「働く」

5．小さい「プ」の音の後ろに、別の音が続く場合

アフプテ	ahupte	「入れる」
アプカシ	apkas	「歩く」
トプセ	topse	「唾を吐く」

6．小さい「ム」の音の後ろに、別の音が続く場合

カムタチ	kamtaci	「麹（こうじ）」
オムケオムケ	omkeomke	「せきをする」
リムセ	rimse	「踊る」

7．小さい「ラ・リ・ル・レ・ロ」の音の後ろに、別の音が続く場合

アラパ	arpa	「行く」
ピリカ	pirka	「が良い」
トゞルセ	turse	「が転ぶ」
テレケ	terke	「が跳ねる」
ホロケウ	horkew	「オオカミ」

ステップ6　文のかたち1「～が…する」という表現

（例文）

1. オッカイポ　エク。
   Okkaypo　ek.
   若者　　来る
   「若者が来る」

2. ノンノ　ヘチラサ。
   Nonno　hecirasa.
   花　　咲く
   「花が咲く」

3. セタ　ミク。
   Seta　mik.
   イヌ　吠える
   「イヌが吠える」

4. アプト　アシ。
   Apto　as.
   雨　　降る
   「雨が降る」

（学習内容とポイント）

「～が…する」という表現

例文 1 ～ 4 は、二つの単語が並べられ、「～が…する」という表現になっています。前（下線部）に置かれた単語は、**オッカイポ** okkaypo「若者」**ノンノ** nonno「花」**セタ** seta「イヌ」**アプト** apto「雨」のような、人や物を表す「名詞（めいし）」です。

後ろに置かれた単語は、**エク** ek「来る」**ヘチラサ** hecirasa「咲く」**ミク** mik「吠える」**アシ** as「降る」のような、動作や様子を表す「動詞（どうし）」です。

例文 1 のように、「**オッカイポ** okkaypo」・「**エク** ek」の順に単語を並べると、「～が…する」という表現になります。なお、日本語の「が」にあたる言葉は、アイヌ語にはありません。

また、アイヌ語の動詞には、「…する」と「…した」のような区別はありません。たとえば、例文 1 の **オッカイポ　エク**。Okkaypo ek. は「若者が来る」という意味にも「若者が来た」という意味にもなります。

同じように、例文 2 ～ 4 は「花が咲いた」「イヌが吠えた」「雨が降った」という意味にもなります。

単語を覚えよう3　～陸の生き物の名前～

1.	カムイ	kamuy	「クマ」
2.	ユㇰ	yuk	「シカ」
3.	チロンヌㇷ゚	cironnup	「キツネ」
4.	モユㇰ	moyuk	「タヌキ」
5.	セタ	seta	「イヌ」
6.	エサマン	esaman	「カワウソ」
7.	エルㇺ	erum	「ネズミ」
8.	ホイヌ	hoynu	「テン」
9.	イセポ	isepo	「ウサギ」
10.	タンネカムイ	tannekamuy	「ヘビ」

言葉遊びで覚えよう 3

十勝地方

◇芽室のとなえごと　歯が抜けたとき

カムイフチ	タネ	パクノ	クコロ	ニマク
kamuyhuci	tane	pakno	ku=kor	nimak
火の神よ、	今	まで	私が持っていた	歯を

カムイ	フチ	クコレ	ハウ	タパン	ナ。
kamuy	huci	ku=kore	haw	tap an	na.
火の神に		さしあげますよ。			

ピリカ	ニマク	エンチコレ	ナンコン	ナ。
pirka	nimak	enci=kore	nankor	na.
良い	歯を	授かり	ますよう。	

☆芽室では乳歯が抜けると炉に入れたそうです。火の神に捧げて、代わりに新しい良い歯を授けてもらうという考えが読み取れます。

◇伏古のとなえごと　　日食のとき

チュプカムイ	ホイ	ヤイヌパ	ホイ	エライナ	ホイ。
cup kamuy	hoy	yaynupa	hoy	e=ray na	hoy.
太陽の神よ	ホイ	我にかえれ	ホイ	お前が死ぬぞ	ホイ

☆日食は、多くの地方で太陽が巨大な魔物に飲み込まれることによって起こると考えていました。そこで失神している太陽に大きな声と音で呼びかけ、目を覚まして逃げるよう促すまじないがよく見られます。

☆これらのまじないの収録にあたって『「東北北海道のアイヌ古謡録音テープ」の内容調査研究』アイヌ文化研究会 (「アイヌ関連総合研究等助成事業研究報告第 8 号下巻資料編」財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構 2009 年) を参照しました。

ステップ7　文のかたち2「～が…しない」否定の表現

（例文）

1. エカシ　ソモ　アラパ。
   Ekasi　somo　arpa.
   おじいさん　（否定）　行く
   「おじいさんは行かない」

2. アチャポ　ミナ　カ　ソモ　キ。
   Acapo　mina　ka　somo　ki.
   おじさん　笑う　も　（否定）　する
   「おじさんは笑わない」

3. アプト　アシ　ソモ　キ。
   Apto　as　somo　ki.
   雨　降る　（否定）　する
   「雨は降らない」

（学習内容とポイント）

「～が…しない」否定の表現

例文 1 のように、動詞**エク** ek「来る」の前に「**ソモ** somo」を置くことで、否定（ひてい）の表現をつくることができます。

次に、例文 2 のように、「**カ ソモ キ** ka somo ki」という言葉を動詞の後に置いて、否定の表現をつくることもできます。直訳すると「も （否定） する」ということになりますが、～カ　ソモ　キで「～しない」という意味であると一まとめで覚えればいいです。

さらに、例文 3 のように「**ソモ キ** somo ki」という言い方もあります。

ステップ8　文のかたち3「～は～だ」という表現

（例文）

1. タンペ　マキリ　ネ。
   Tanpe　makiri　ne.
   これ　小刀　だ
   「これは小刀です」

2. タン　クル　エカシ　アキヒ　ネ。
   Tan　kur　ekasi　akihi　ne.
   この　人　おじいさん　弟　だ
   「この人はおじいさんの弟です」

3. トアンペ　チセ　カ　ソモ　ネ。
   Toanpe　cise　ka　somo　ne.
   あれ　家　などでは（否定）ない
   「あれは家ではありません」

（学習内容とポイント）

「～は ～だ」という表現

「～は～だ」という表現をつくるときには、例文１のように、「～」にあたる名詞（句）を２つ、**タンペ** tanpe「これ」、**マキリ** makiri「小刀」を並べ、次に「**ネ** ne」という動詞を置きます。

「**ネ** ne」は日本語の「～だ、である、です」にあたる言葉です。

「～は～ではない」という表現

否定の表現には、例文3、のように**ソモ** somo を使います。

名詞の後に**カ ソモ ネ** ka somo ne を置きます。

また、**カ** ka「も」をつけないで、**ソモ ネ** somo ne という言い方もあります。

単語を覚えよう4　～川や海の生き物の名前～

1.	フンペ	humpe	「クジラ」
2.	レプンカムイ	repunkamuy	「シャチ」
3.	エタシペ	etaspe	「トド」
4.	タンヌ	tannu	「イルカ」
5.	ピパ	pipa	「カワシンジュガイ」
6.	シペ	sípe	「サケ」
7.	イチャヌイ	icanuy	「マス」
8.	サマンペ	samampe	「カレイ」
9.	アムシペ	amuspe	「カニ」
10.	エレクシ	erekus	「タラ」

言葉遊びで覚えよう 4

静内･新冠地方

◇静内の言葉　先祖供養に関すること

レパ アン　ヤクン　シンリッコイチャラパアン　ルウェネ。
re pa an　yakun　sinritkoicarpa=an　ruwe ne.
（人が亡くなって）３年たったら先祖を供養するのです。

ネプ ネヤッカ　アネパ　キ　ワ　ネ　ヤク
nep ne yakka　an=epa　ki　wa　ne　yak
何であっても、手に入れたら

カンナ ルイノ　シンリッ　アコイチャラパ　ルウェ ネ ナ。
kanna ruyno　sinrit　a=koicarpa　ruwe ne na.
また先祖を供養するのですよ。

（語り手:葛野辰次郎さん）

◇新冠･静内の言葉

ハン チキサニ ハマテ ピウカネ トゥワチヤ チリサケ チン コヤコヤ タカクルコ ピヤッ
（語り手:狩野義美さん）

☆ここに掲載した言葉は、『平成 11 年度アイヌ語ラジオ講座テキスト』vol.4 および、狩野義美『新冠･静内地方のアイヌ語 郷土史話 随筆集―わが想い出―』より引用しました。狩野さんの言葉は原書の表記のまま掲載しています。

ステップ9　文のかたち4「～は…か？」疑問の表現1

（例文）

1.　タンペ　ウェン？
Tanpe　wen?
これ　悪い
「これは悪い？」

2.　タント　ウパシ　アシ　ヤ？
Tanto　upas　as　ya?
今日　雪　降る　か
「今日は雪が降るか？」

3.　トアンペ　ペカンペ　ネ　ルウェ？
Toanpe　pekanpe　ne　ruwe?
あれ　ヒシの実　である　こと
「あれはヒシの実なの？」

4.　ニサッタ　アプト　アシ　ハウェ？
Nisatta　apto　as　hawe?
明日　雨　降る　声
「明日雨が降るって？」

（学習内容とポイント）

疑問（ぎもん）の表現には、いくつかの種類があります。

このステップでは、相手に質問する時の表現について勉強します。

例文 1 のように、文末を高く上げるように発音すれば質問の意味になります。日本語でも「これダメ？」「あなた食べる？」のように質問することがありますが、それと同じです。

例文 2 のように文章の終わりに**ヤ** ya をつけるのも質問のやり方としてよくある言い方です。

例文 3 の**ルウェ** ruwe は、「跡」「こと」というのがもとの意味ですが、文章の後ろにつけると、「〜なのか？」と相手に問いかけたり確認する時の言い方で、よく使われます。

例文 4 の**ハウェ** hawe は、「声」というのがもとの意味ですが、文章の後ろにつけると相手の言ったことや聞いた話に対して、「〜ということなのか？」「〜だって？」と相手に問いかけたり確認する時の言い方です。こちらもよく使われます。この場合、相手が「明日雨が降るらしいよ」というようなことを言ったので、「明日雨が降るんだって？」みたいな形で問いかえる場合にこの言い方を使うことができます。

ステップ10 「～は…のだ」断定の表現

（例文）

1. タンペ　シケレペ　ネ　ルウェ　ネ。
   Tanpe　sikerpe　ne　ruwe　ne.
   これ　キハダの実　である　こと　だ
   「これはキハダの実なのだ」

2. タネ　アチャポ　エク　シリ　ネ。
   Tane　acapo　ek　siri　ne.
   今　おじさん　来る　様子　だ
   「今おじさんが来るんだよ」

3. ニサッタ　カムイノミ　アン　ハウェ　ネ。
   Nisatta　kamuynomi　an　hawe　ne.
   明日　儀式　ある　声　だ
   「明日儀式があるんだよ」

（学習内容とポイント）

ここではアイヌ語の文末でよく使われる、断定の言い方について勉強します。ステップ9に出てきた**ルウェ** ruwe「跡、こと」という名詞と、**ネ** ne「である」という動詞を組み合わせた**ルウェ　ネ** ruwe ne を文章の後ろにつけると、話し手が、確実だと思っているという気持ちを表します。日本語では「〜のだよ」「〜のです」のような訳になることが多いです。

例文1は、**ルウェ　ネ** ruwe ne のない、**タンペ　シケレペ　ネ**。Tanpe sikerpe ne.「これはキハダの実だ」という言い方をしても文章は成り立ちますが、**ルウェ ネ** ruwe ne をつけることで、「これはキハダの実なんだよ」というような感じで事実を強調した言い方になります。

例文2は、**ルウェ** ruwe の代わりに**シリ** siri「様子」を使っていますが、これは目の前の光景について「今こういう様子なのだ」と説明したり、事実を強調する言い方です。今、目の前でおじさんが来つつあるという情景を目の前にして、「（あなたも目の前で見ているように）今、おじさんが来るんだよ」と事実を強調しています。

例文3の場合は、**ハウェ** hawe「声」という言葉を使っていますが、これは、自分もしくは相手、他人の言った言葉に基づいて、事実を強調する表現です。例文4は、たとえば、明日儀式（**カムイノミ** kamuynomi）があるという話をしていて、その話に途中から入ってきた人が「何の話をしているの？明日何かあるの？」と聞いた時に、「明日儀式があるんだよ（という話を私たちはしている）」と人に伝える時にこういう言い方になります。必ずしも伝聞（人から聞いた話）とは限りません。くどい言い方をするならば、「これこれこういう話をしているのだ」「これこれこういう話なのだ」と事実を強調しているのです。

単語を覚えよう５　～鳥の名前～

1.	コタンコㇺカムイ	kotankorkamuy	「シマフクロウ」
2.	アマメチカッポ	amamecikappo	「スズメ」
3.	パㇱクㇽ	paskur	「カラス」
4.	チピヤㇰ	cipiyak	「オオジシギ」
5.	カパチㇼ	kapacir	「オオワシ」
6.	チㇷﾟタチカㇷﾟ	ciptacikap	「クマゲラ」
7.	エヤミ	eyami	「カケス」
8.	サロルンチカㇷﾟ	saroruncikap	「タンチョウヅル」
9.	カピウ	kapiw	「カモメ」
10.	エソㇰソキ	esoksoki	「キツツキ」

言葉遊びで覚えよう 5

八雲地方と新冠･静内地方

◇八雲の言葉遊び　ヒバリの聞きなし

ピシタリムポ　ピシタリムポ　シリクン　トゥワテトゥワテ　マクンマクン
pistarimpo　pistarimpo　sirkun　tuwate tuwate　makunmakun

クルルン　クルルン　キナ　トイ　クルカ　コケンラッキ　チコパララッ
kururun　kururun　kina　toy　kurka　kokenratki　cikopararat

（語り手:椎久年蔵さん）

◇新冠･静内の言葉遊び

ウッポテンテン ウッポテンテン ピシカン コタン コケウラッキ
ピラタチュチュ ピラタ チュ

（語り手:狩野義美さん）

☆ここに掲載した言葉は、日本放送協会『アイヌ伝統音楽』および、狩野義美『新冠･静内地方のアイヌ語 郷土史話 随筆集―わが想い出―』より引用しました。

狩野さんの言葉は原書の表記のまま掲載しています。

ステップ11　文のかたち6 感嘆の表現

（例文）

1. タン　チセ　ポロ　ルウェ！
   Tan　cise　poro　ruwe!
   この　家　大きい　こと
   「この家は大きいね！」

2. ノンノ　ピリカ　シリ！
   Nonno　pirka　siri!
   花　きれい　様子
   「花がきれいだね！」

3. ウナラペ　アリキキ　ハウェ！
   Unarpe　arikiki　hawe!
   おばさん　頑張る　話
   「おばさんは頑張るね！」

4. タント　シリポプケ　フミ！
   Tanto　sirpopke　humi!
   今日　暖かい　感じ
   「今日は暖かいなあ！」

（学習内容とポイント）

「～は～だなあ！」感嘆の表現

文の終わりに、**ルウェ** ruwe、**シリ** siri、**ハウェ** hawe、**フミ** humi などの名詞（形式名詞）を置くと、感心したり、びっくりしたなど、心情や感情を表わす感嘆（かんたん）の表現になります。

これらの言葉は、それぞれ「こと、事実、跡」、「声」、「様子」、「音、感じ」という意味ですが、慣用的によく使われます。

感嘆の表現に使われる**ルウェ** ruwe、**シリ** siri、**ハウェ** hawe、**フミ** humi には次のような使い分けがあります。

ルウェ ruwe：例文 1 のように、話し手が確実だと考えていることについて用います。

シリ　siri　：例文 2 のように、目の前で起こっていることについて用います。目の前にきれいな花があるのでこういう言い方になります。

ハウェ hawe：例文 3 のように、相手もしくは自分の発言に基づいて用います。たとえばおばさんが一生懸命仕事をしている話を聞いて、それについて感嘆しているのでこの言い方になっています。

フミ　humi：例文 4 のように、舌（味覚）、音、触感など身体感覚で感じたことについて用います。ここでは、温度を体で感じていているのでこの言い方になっています。

ステップ12　文のかたち 7「…しなさい、…するな」命令•禁止の表現

（例文）

1. ヌカラ！
   Nukar!
   見ろ
   「見ろ！」

2. タン　エモ　エ　ヤン！
   Tan　emo　e　yan!
   この　イモ　食べろ　なさい
   「このイモを食べなさい！」

3. イテキ　アラパ！
   Iteki　arpa!
   （禁止）　行け
   「行くな！」

4. イテキ　ミナ　ヤン！
   Iteki　mina　yan!
   （禁止）　笑う　なさい
   「（複数の人に）笑うな！／（1 人の人に）笑わないでね！」

（学習内容とポイント）

「～しなさい」命令の表現

例文 1 のように、動詞をそのまま命令の言葉として使うことができます。その前に目的語をつけることもできます。**タンペ　ヌカ**ㅋ！ Tanpe nukar! だと「これを見ろ」という意味になります。これは目下の人や近しい人に対するぞんざいな言い方です。

また、例文 2 のように、文の終わりに**ヤン** yan をつけることがありますが、これは、2 人以上の人に対して命令する場合です。しかし、これを 1 人の人に対して使うこともできますが、この場合は、丁寧な命令になります。

「～するな」禁止の表現

禁止の表現をつくるときには、文の先頭または動詞の前に**イテキ** iteki を置きます。**イテキ** iteki は「～するな」という意味を表します。例文 3 のように、**ヤン** yan を用いると複数の人に対する禁止の表現になります。また、1 人に対する丁寧な禁止の表現にもなります。

単語を覚えよう6　～食用植物の名前～

1.	トゞレプ	turep	「オオウバユリ」
2.	シケレペ	sikerpe	「キハダの実」
3.	プクサ	pukusa	「ギョウジャニンニク」
4.	コロコニ	korkoni	「フキ」
5.	カルシ	karus	「キノコ」
6.	アハ	aha	「ヤブマメ」
7.	マウ	maw	「ハマナス」
8.	チマキナ	cimakina	「ウド」
9.	ノヤ	noya	「ヨモギ」
10.	プクサキナ	pukusakina	「ニリンソウ」

言葉遊びで覚えよう 6

◇こそあど（連体詞）の歌　釧路･白糠方言版

① タン フチ タンメエコッ タン ポンチェッポ エレ。
tan huci tan meekot tan pon ceppo ere.
このお祖母さんこの猫に　　この小魚を食べさせた
ト゜アンサポ ト゜アンエカチ ト゜アンアパッポ コレ。
tuan sapo tuan ekaci tuan apappo kore.
あのお姉さんあの子に　　あの花をあげた

ハンケノ アンペ アナク ”タンペ” アニ アイイェ。
hankeno an pe anak “taan pe” ani an=ye.
近くにあるものは　　「これ」という
ト゜イマノ アンペ ネ チキ ”ト゜アンペ” アニ アイイェ。
tuymano an pe ne ciki “tuan pe” ani an=ye.
遠くにあるものは　　「あれ」という

② タン チカプ タン タ タン セッ タント カラ。
tan cikap tanta tan set tanto kar.
この鳥ここでこの巣を　　今日作った
ト゜アン シタ ト゜アン タ ト゜アン ノチュイ ヌカラ。
tuan sita tuanta tuan nocuy nukar.
あの犬あそこであの星を　　見ていた

ハンケノ アンペ アナク ”タン タ” アニ アイイェ。
hankeno an pe anak “tan ta” ani an=ye.
近くで起ることは　　「ここで」という
ト゜イマノ アンペ ネ チキ ”ト゜アン タ” アニ アイイェ。
tuymano an pe ne ciki “tuan ta” ani an=ye.
遠くで起ることは　　「あそこで」という

☆「これ、それ、あれ」などは、とっさのときに使い分けが難しい言葉です。「アルプス一万尺」の節で、使い分けを覚えてしまい、次に実際に使ってみましょう。

（作成:北原次郎太）

ステップ13　人称について学ぶ1「私が…する」の表現

（例文）

1. クシノッ。
   Ku=sinot.
   私・遊ぶ
   「私は遊ぶ」

2. ポロ　チェプ　クコイキ。
   Poro　cep　ku=koyki.
   大きい　魚　私・とる
   「私は大きい魚をとる」

3. ニサッタ　カラパ。
   Nisatta　k=arpa.
   明日　私・行く
   「明日、私は行く」

4. トペンペ　ポロンノ　ケ　ルスイ。
   Topenpe　poronno　k=e　rusuy.
   お菓子　たくさん　私・食べる　したい
   「私はお菓子をたくさん食べたい」

（学習内容とポイント）

「私が…する」の表現

「私が…する」という表現をつくる場合には、動詞の前に**ク** ku= をつけます。この**ク** ku= は、日本語の「私」とは異なり、動詞の一部です。

ク ku=「私が」＋**シノッ** sinot「遊ぶ」
→**クシノッ** ku=sinot「私が遊ぶ」

ク ku= のついた言葉を発音するときには、「**クシノッ**」という一つの言葉のように続けて発音します。「**ク・シノッ**」と「・」で区切って書くこともありますが、実際は続けて発音します。**ク** ku= の後で区切りを入れないように注意する必要があります。

例文 2 のようにその前に目的語が来ることがありますが、**ク** ku=「私」と**コイキ** koyki「とる」はつながって一つの言葉になるので、離してはいけません。**クポロ　チェプ　コイキ**。Ku= poro cep koyki. という言い方はできません。

また、**ク** ku= のあとに、**ア** a・**ウ** u・**エ** e・**オ** o があると、音がつながって、**カ** k=a・**ク** k=u・**ケ** k=e・**コ** k=o という発音になります。例文 1 のように、**ク・アラパ** ku=arpa「私が行く」は、**カラパ** k=arpa という発音になります。ローマ字では、ku= の u が消えて、k= と書きます。これは、沙流・鵡川・千歳方言などで見られる現象です。

例文 4 のように「私が食べる」は、**ク・エ** ku=e ですが、通常、音が縮まって**ケ** k=e と発音されます。

イ i ではじまる言葉については、こうなりません。たとえば**ク・イペ** ku=ipe「私は食事する」は、**クイペ**のままで、**キペ** k=ipe にはなりませんのでご注意ください。

ステップ14　人称について学ぶ2「あなたが•あなたたちが…する」の表現

（例文）

1. クスル　ワ　エエク。
   Kusur　wa　e=ek.
   釧路　から　あなた・来る
   「釧路からあなたは来る／来た」

2. ピリカ　タマサイ　エコロ。
   Pirka　tamasay　e=kor.
   きれいな　首飾り　あなた・持つ
   「きれいな首飾りをあなたは持っている」

3. エアラキンネ　エチシンキ。
   Earkinne　eci=sinki.
   とても　あなたたち・疲れる
   「あなたたちはとても疲れている」

4. ノチウ　エチヌカラ。
   Nociw　eci=nukar.
   星　あなたたち・見る
   「あなたたちは星を見る」

（学習内容とポイント）

「あなたが…する」の表現

「あなたが…する」という表現をつくる場合には、例文 1, 2 のように動詞の前に「**エ** e=」をつけます。

エ e=「あなたが」＋**エク** ek「来る」
→**エエク** e=ek.「あなたが来る」
エ e=「あなたが」＋**コロ** kor「持つ」
→**エコロ** e=kor.「あなたが持つ」

※ステップ 15 より

「あなたたちが…する」の表現

例文 3 のように動詞の前に「**エチ** eci=」をつけると、「あなたたちが…する」という表現になります。

エチ eci= ＋**シンキ** sinki「疲れる」
→**エチシンキ** eci=sinki.「あなたたちは疲れる」
エチ eci= ＋**ヌカラ** nukar「見る」
→**エチヌカラ** eci=nukar.「あなたたちは見る」

なお、例文の 2 の**コロ** kor は「持つ」、例文 3 の**シンキ** sinki は「疲れる」という意味ですが、それぞれ状況によって訳文は「持っている」「疲れている」という訳語になります。

単語を覚えよう７　～木の名前～

1.	ランコ	ranko	「カツラ」
2.	ケネ	kene	「ハンノキ」
3.	スス	susu	「ヤナギ」
4.	チクペニ	cikupeni	「エンジュ」
5.	スンク	sunku	「エゾマツ」
6.	フプ	hup	「トドマツ」
7.	トゞンニ	tunni	「カシワ」
8.	アッニ	atni	「オヒョウ」
9.	ニペシニ	nipesni	「シナ」
10.	トペニ	tópeni	「イタヤ」

言葉遊びで覚えよう 7

十勝地方

◇音更　サマイェクルが 10 匹の犬を呼んだ時の歌

カニロロ　スカポ　タルケ　ラソラソ　アンペトパキウカ　ユクトパキウカ
kaniroro　sukapo　taruke　rasoraso　anpetopakiwka　yuktopakiwka

ナトリンポ　ナホレッ　チョーチョ
natorimpo　nahoret　co co

（語り手:中村タマさん）

◇伏古 杵つき歌

アア　ハウオ　イウタニ　ハウオ
aa　haw o　iutani　haw o
（かけ声）杵（かけ声）

アア　ハウオ　ニスフチ　ハウオ
aa　haw o　nisuhuci　haw o
（かけ声）　臼のおばあさん　（かけ声）

☆この歌を収録するにあたり、『「東北北海道のアイヌ古謡録音テープ」の内容調査研究』アイヌ文化研究会 (「アイヌ関連総合研究等助成事業研究報告第 8 号下巻資料編」財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構 2009 年) および『十勝アイヌの熊祭』（記録映画）を参照しました。

ステップ15　人称について学ぶ3「私たちが…する」の表現1

（例文）

1. ワッカ　チク。
   Wakka　ci=ku.
   水　私たち・飲む
   「私たちは水を飲む」

2. ポロ　ヌプリ　チヌカラ。
   Poro　nupuri　ci=nukar.
   大きい　山　私たち・見る
   「私たちは大きい山を見た」

3. ケラアン　カム　チェ。
   Keraan　kam　c=e.
   おいしい　肉　私たち・食べる
   「私たちはおいしい肉を食べる」

4. トアン　クル　チャムキリ。
   Toan　kur　c=amkir.
   あの　人　私たち・知っている
   「あの人を私たちは知っている」

（学習内容とポイント）

「私たちが…する」の表現 1

「〜が…する」という動詞の前に「**チ** ci=」をつけると、「私たちが〜を…する」という表現になります。

また、例文3·例文4のように、**チ** ci= のあとに、**ア** a·**ウ** u·**エ** e·**オ** o があると、音がつながって、**チャ** c=a·**チュ** c=u·**チェ** c=e·**チョ** c=o という発音になります。例えば、例文3の**チェ** c=e は、**チ・エ** ci=e ですが、通常音が縮まった形です。ローマ字では i を抜かして c= となります。例文4の**チャムキリ** c=amkir は、**チ・アムキリ** ci=amkir の縮まった形です。

ク ku=「私」同様、**イ** i の場合は、そのままなので、**チ** c=i にはなりません。たとえば**チイルシカレ** ci=iruskare「私たちが〜を怒らせる」は、**チルシカレ** c=iruskare にはなりません。

ステップ16　人称について学ぶ4「私たちが…する」の表現2

（例文）

1. アイヌ　アネ。
   Aynu　a=ne.
   人間　私たち・だ
   「私たちは人間だ」

2. ニサッタ　ト゜レプ　ポロンノ　アタ。
   Nisatta　turep　poronno　a=ta
   明日　ウバユリ　たくさん　私たち・掘る
   「明日私たちはウバユリをたくさん掘る」

3. ラタシケプ　アエ　ロ！
   Rataskep　a=e　ro!
   混ぜ煮　私たち・食べる　しよう
   「混ぜ煮を私たちは食べましょう」

4. タン　カルシ　アエ　エアイカプ。
   Tan　karus　a=e　eaykap.
   この　キノコ　私たち・食べる　できない
   「このキノコを（私たち人間は）食べることができない」

（学習内容とポイント）

「私たちが…する」の表現２

ステップ15で学んだ「私たち」の表現は、聞き手を含まない「私たち」を表す言葉です。

たとえば、動物園でフクロウを見ている子どものグループに、別のグループの子どもが「私たちはキツネを見に行くよ」と言うとき、この「私たち」にはフクロウを見ている子どもたちは入っていません。

これに対し、「私たちみんなでキツネを見に行こう」と言った場合には、「私たち」の中に、話し手も聞き手もすべて含まれることになります。

日本語ではどちらの場合も「私たち」と表現されますが、アイヌ語では異なった言葉が用いられます。

聞き手を含めて「私たちが～を…する」と表現する場合には、例文1のように、他動詞**ネ** ne 「～である」の前にア a= をつけます。

このほかにも、**ア** a= は、さまざまな表現で用いられます。詳しくはおいおい勉強していきましょう。

例文3で使われている**ロ** ro は、文章の最後につけて「～しよう」と相手に誘いかける言葉です。この場合**ア** a=「私たち」をつけ忘れてはいけません。

この**ア** a= は、もっと広い意味で、「人間全般」のような意味で使うことがあります。例文3の場合、このキノコを「私たちは」食べることができないと言っているのは、「私やあなた」のような特定の限られた人についてではなく、人間なら普通みんな食べることができないという意味です。

この**ア** a= は、**ア・ミ・プ** a=mi-p 私たち･着る･もの＝「着物」、**ア・エ・プ** a=e-p 私たち･食べる･もの＝「食べ物」、**ア・オ・イペ・プ** a=o-ipe-p 私たち･それで･食事する･もの＝「食器」、など合成語でもよく使われます。

また、**ユカ**ラ yukar（英雄叙事詩）や**ウウェペケ**レ uwepeker（昔話）など、物語では、この**ア** a= が「私」の意味でも使われます。

単語を覚えよう8　～料理に関する言葉～

1.	オハウ	ohaw	「具のある汁」
2.	サヨ	sayo	「かゆ」
3.	ラタシケプ	rataskep	「混ぜ物料理」
4.	シト	sito	「団子」
5.	カム	kam	「肉」
6.	チェプ	cep	「魚」
7.	シアマム	síamam	「米」
8.	スム	sum	「油」
9.	スケ	suke	「～が料理する」
10.	ケラアン	keraan	「おいしい」

言葉遊びで覚えよう 8

◇ アイヌ語かぞえ歌

シネト゛レプ
sine turep
1 つのウバユリ

ト゛レクト゛ンペ
tu rekutunpe
2 つの首飾り

レイナウル
re inawru
3 つの削りかけ

イネアッケテク
ine akketek
4 つのほたて

アシクネ イワニ
asikne iwani
5 つのアオダモ

アイヌイタカニ
aynuitak ani
アイヌ語で

イピシキ キ ヤナニ
ipiski ki yan ani
かずをかぞえてね

イワンアラカシ
iwan arkas
6 つの片小屋

アラワント゛ペプ
arwan tupep
7 つの結び目

ト゛ペサンスネ
tupesan sune
8 つのたいまつ

シネペサンワンパッカ
sinepesan wanpakka
9 つのてぶくろ

ワンシネウェクル
wan sinewekur
10 人のおきゃくさん

アイヌイタカニ
aynuitak ani
アイヌ語で

シノッチャキアン ロク
sinotcaki=an rok
みんなでうたってみよう

☆「ひ〜とり、ふ〜たり、さんにん いるよ♪」で知られている
　「10人のインディアン」の節で歌いましょう。
☆歌詞に使ったアイヌ語は、美幌方言が中心となっています。

（作成:北原次郎太）

ステップ17　人称について学ぶ5「私を•私たちを…する」の表現

（例文）

1. クンネ　セタ　エンクパパ。
   Kunne　seta　en=kupapa.
   黒い　イヌ　私を・噛んだ
   「黒いイヌが私を噛んだ」

2. ウナラペ　エアラキンネ　エネランポキウェン。
   Unarpe　earkinne　en=erampokiwen.
   おばさん　とても　私を・気の毒がる
   「おばさんはとても私を気の毒がった」

3. アチャポ　イチェン　ポロンノ　ウンコレ。
   Acapo　icen　poronno　un=kore.
   おじさん　お金　たくさん　私たちに・くれた
   「おじさんは私たちにたくさんお金をくれた」

4. フチ　ケラアン　トペンペ　ウネレ。
   Huci　keraan　topenpe　un=ere.
   おばあさん　おいしい　お菓子　私たち・食べさせた
   「おばあさんはおいしいお菓子を私たちに食べさせてくれた」

（学習内容とポイント）

「私を（に）…する」の表現

「私を（に）～する」と表現する場合には、例文1, 2のように「**エン** en=」を他動詞の前につけます。「私が」を意味する「**ク** ku=」とは形が異なるので、注意する必要があります。

例文2の**エネランポキウェン** en=erampokiwen は、分解すると**エン・エランポキウェン**ですが、音がつながって**エネランポキウェン**という音になっています。

エン en= のあとにアイウエオ aiueo の音が来ると、音がつながってエネ･エニ･エヌ･エネ･エノという音になります。

エン en=「私を」＋**クパパ** kupapa「かじる」
→　**エンクパパ** en=kupapa「私をかじる」

「私たちを（に）…する」の表現 1

聞き手を含まないで「私たちを（に）…する」と表現する場合（参考ステップ15, 16）には、例文3, 4のように「**ウン** un=」を他動詞の前につけます。

「（話し相手を含まない）私たちが」を意味する「**チ** ci=」とは形が異なるので、注意する必要があります。

アチャポ acapo「おじさん」＋**ウン** un=「私たちに」＋**コレ** kore「くれる」
→　**アチャポ　ウンコレ** acapo un=kore「おじさんが私たちに（おいしいお菓子を）くれる」

例文4の**ウネレ** un=ere は、分解すると**ウン・エレ**ですが、音がつながって**ウネレ**という音になっています。

エン en=「私を」と同じように、**ウン** un= のあとにアイウエオ aiueo の音が来ると、音がつながってウネ･ウニ･ウヌ･ウネ･ウノという音になります。

ステップ18　人称について学ぶ6「私たちを（に）…する」の表現 2

（例文）

1. ウナラペ　イミナレ。
   Unarpe　i=minare.
   おばさん　私たちを・笑わせる
   「おばさんは私たちを笑わせる」

2. カムイ　イエプンキネ。
   Kamuy　i=epunkine.
   神様　私たちを・守る
   「神様は私たちを守ってくれる」

3. エカシ　ウパシクマ　イヌレ。
   Ekasi　upaskuma　i=nure.
   おじいさん　言い伝え　私たちに・聞かせる
   「おじいさんは言い伝えを私たちに聞かせてくれる」

4. フチ　イチェン　ポロンノ　イコレ　ナンコロ。
   Huci　icen　poronno　i=kore　nankor.
   おばあさん　お金　たくさん　私たち・くれる　だろう
   「おばあさんはお金をたくさん私たちにくれるだろう」

（学習内容とポイント）

「私たちを（に）…する」の表現２

聞き手を含めて「私たちを（に）…する」と表現する場合（参考：ステップ16）には、例文のように「**イ** i=」を他動詞の前に付けます。

「（聞き手を含む）私たちが」を意味する「**ア** a=」とは形が異なるので、注意する必要があります。

ウナラペ unarpe「おばさん」＋**イ** i=「私たちを」＋**ミナレ**「笑わせる」

→　**ウナ**ラペ　**イミナレ** unarpe i=minare「おばさんが私たちを笑わせる」

この「**イ** i=」は、例文3のように、「私たちを」ではなく「私たちに」という訳になることもあります。

また、**ユカ**ラ yukar（英雄叙事詩）などの物語で、「**イ** i=」は、「私を（に）」という意味で使われることもあります。

日本語では、「おじいさんは言い伝えを私たちに聞かせてくれる」と言ったり「おじいさんは私たちに言い伝えを聞かせてくれる」などと、この「私たちに」の部分の順番が変わってもかまいませんが、アイヌ語では**イ** i= を動詞と離すことはできません。ですので**イ** i= と**ヌレ** nure を離して、**エカシ　イ　ウパシクマ　ヌレ**。Ekasi i= upaskuma nure. と言うことはできないのでご注意ください。

この他にも、「**イ**」はさまざまな表現で用いられます。詳しくはおいおい勉強していきましょう。

単語を覚えよう9　～衣服などの名前～

1.	アミプ	amip	「着物」
2.	アットシ	attus	「樹皮製の着物」
3.	チカラカラペ	cikarkarpe	「刺しゅう入りの着物」
4.	モウル	mour	「女性用の肌着」
5.	ケレ	ker	「靴」
6.	コンチ	konci	「帽子」
7.	ホシ	hos	「脚絆」
8.	テクンペ	tekunpe	「手甲」
9.	クッ	kut	「帯」
10.	ニンカリ	ninkari	「耳飾り」

言葉遊びで覚えよう 9

長万部地方

◇イモの歌

フンチャ　アア　ホレレ　フンチャ　アア　ホ ホイヤ
hunca　aa　horere　hunca　aa　ho hoyya
※はやし言葉

フンチャ　アア　ホレレ　フンチャ　アア　ホ ホイヤ
hunca　aa　horere　hunca　aa　ho hoyya
※はやし言葉

イモ　モシリ　カ タ　ヤンケ　ホレ　ウク　ワ　ヌカラン
imo　mosir　ka ta　yanke　hore　uk　wa　nukar yan.
イモを陸地にあげたぞ、さあ手にとって見てみなさい

ハ　ショコチョイ　ショコチョイ
ha　sokocoy　sokocoy
※はやし言葉

☆この歌を収録するにあたり谷本一之『アイヌ絵を聴く』(CD)を参照しました。

ステップ19　人称について学ぶ7「あなたを•あなたたちを…する」の表現

（例文）

1. ハポ　エヌカラ。
   Hapo　e=nukar.
   お母さん　あなたを・見る
   「お母さんはあなたを見る」

2. セタ　ウタラ　エノシパ。
   Seta　utar　e=nospa.
   イヌ　たち　あなたを・追いかける
   「イヌたちがあなたを追いかける」

3. ユポ　エチオイラ　ルウェ！
   Yupo　eci=oyra　ruwe!
   お兄さん　あなたたちを・忘れる　こと
   「お兄さんはあなたたちを忘れたのか！」

4. アチャポ　カンピソシ　エチヌカレ。
   Acapo　kampisos　eci=nukare.
   おじさん　本　あなたたちに・見せる
   「おじさんはあなたたちに本を見せる」

（学習内容とポイント）

「あなたを（に）…する」の表現

「あなたを（に）…する」と表現する場合には、例文1 ～ 2のように、「**エ** e=」を動詞の前につけます。この「**エ** e=」は、「あなたが」を意味する「**エ** e=」（参考：ステップ14）と形の上では同じものです。

ハポ hapo「お母さん」＋**エ** e=「おまえを」＋**ヌカラ** nukar「見る」
→　**ハポ　エヌカラ**　hapo e=nukar「お母さんがあなたを見る」

例文1は、「お母さんをあなたは見る」という意味にもなりますが、これは文脈によって何を意味しているか分かります。

「あなたたちを（に）～する」の表現

「あなたたちを（に）～する」と表現する場合には、**エチ** eci= を動詞の前に付けます。この**エチ** eci= は、「あなたたちが」を意味する**エチ** eci=（参考：ステップ15）と形の上では同じものです。

ユポ yupo「お兄さん」＋**エチ** eci=「あなたたちを」＋**オイラ** oyra「忘れる」
→　**ユポ　エチオイラ**　yupo eci=oyra「お兄さんがあなたたちを忘れる」

ステップ20　人称について学ぶ8「私たちが…する」の表現3

（例文）

1. ヌマン　アラキアシ。
   Numan　arki=as.
   昨日　来る・私たち
   「昨日私たちは来た」

2. ポロンノ　シノッアシ。
   Poronno　sinot=as.
   たくさん　遊ぶ・私たち
   「たくさん私たちは遊ぶ（遊んだ）」

3. ニサッタ　ニプタニ　タ　パイェアシ。
   Nisatta　Niptani　ta　paye=as.
   明日　二風谷　に　行く・私たち
   「明日二風谷に私たちは行く」

4. エアラキンネ　シンキアシ！
   Earkinne　sinki=as!
   とても　疲れる・私たち
   「とても私たちは疲れた！」

（学習内容とポイント）

「私たちが…する」の表現３

例文にある**アラキ** arki「来る」や**シノッ** sinot「遊ぶ」などは、自動詞（じどうし）とよばれる目的語（「～を」にあたる言葉）をとらないタイプの動詞です。

これらの動詞の後ろに「**アシ** =as」をつけると、聞き手を含まない「私たちが…する」という表現になります。他動詞の場合とは、動詞につく位置と形が異なる（参考:ステップ15）ので注意する必要があります。

アラキ arki「来る」＋**アシ** =as
→　**アラキアシ** arki=as　「私たちが来る」

例文1の場合、たとえばAさん一家が、B町に遊びにやってきて、そのことを翌日会ったCさんに「私たちは昨日来た」と説明する時にこういう言い方になります。

同じように、例文2でも例文3でも例文4でも、「私たち」に聞き手は含まれていません。「たくさん私たちは遊んだ」「明日二風谷に私たちは行く」「とても私たちは疲れた」という話は、聞き手には直接関係のない、人ごととして聞く話ということになります。

なお、聞き手を含まない「私たち」は、自動詞の場合と他動詞の場合とでは、動詞につく位置と形が異なるので（参考:ステップ15）、特に注意する必要があります。他動詞には「**チ** ci=」が動詞の前につきます。

単語を覚えよう10　～家に関する言葉～

1.	チセ	cise	「家」
2.	プ	pu	「倉」
3.	セッ	set	「子グマの檻」
4.	アパ	apa	「戸」
5.	プヤㇲ	puyar	「窓」
6.	ロルンプヤㇲ	rorunpuyar	「上座の窓（神々が出入りする窓）」
7.	アペオイ	apeoy	「いろり」
8.	イクㇱペ	ikuspe	「柱」
9.	スワッ	suwat	「ろかぎ」
10.	アシンル	asinru	「便所」

言葉遊びで覚えよう 10

平取地方

◇平取のとなえごと　クマに会ったとき

カムイ　エンライケ　ヤクン　クウェンフラハ　エカ　カム　ワ
kamuy　en=rayke　yakun　ku=wenhuraha　e=ka　kamu　wa
神（クマ）が私を手にかけたなら、私の悪い匂いがあなたの上にかぶさり

カムイ　エヨロッ エキ　エエアイカㇷ゚　ナ。エンキ　ヤカナㇰ　エウェンプリコン　ナ。
kamuy　eyorot　e=ki　e=eaykap　na.　en=ki　yak anak　e=wenpurikor　na.
あなたは神の仲間入りをすることができませんよ。私を手にかければ罪を負いますよ。

(セコㇺ　クハウェアン　コㇺ、オリパㇰ　して、髪こう下げてね)
(sekor　ku=hawean　kor,　oripak　して、髪こう下げてね)
（と言いながら、かしこまって、髪を顔前に垂らして（※女性の挨拶の所作））

イテキ　エンコテㇾケ、イテキ　アイヌフラハ　エラㇰ　クニネ　イキ。
iteki　en=koterke　iteki　aynuhura　e=rak　kunine　iki.
決して私に飛びかからぬよう、人間の匂いが付くような事をなさらぬよう。

（ってこうゆって、こして拝むんです。）

（語り手:貝澤トゥルシノさん）

☆仕事中にクマと出会ってしまった場合にこのように言います。このとなえごとを収録するにあたり、日本放送協会『アイヌ伝統音楽』を参照しました。

ステップ21　人称について学ぶ9「私たちが…する」の表現 4

（例文）

1. オヤシム　ムカ　ウン　パイェアン。
   Oyasim　Muka　un　paye=an.
   あさって　鵡川　に　行く・私たち
   「あさって鵡川に私たちは行く」

2. テ　ワノ　ポンノ　シニアン。
   Te　wano　ponno　sini=an.
   今　から　少し　休む
   「今から少し私たちは休む」

3. オヌマン　パクノ　ソモ　イペアン。
   Onuman　pakno　somo　ipe=an.
   夕方　まで　（否定）食事する・私たち
   「夕方まで私たちは食事しない」

4. ウトゥラ　シノッチャキアン　ロ！
   Utura　sinotcaki=an　ro!
   一緒に　歌う・私たち　しよう

（学習内容とポイント）

「私たちが…する」の表現４

ステップ20で学んだ「私たち」の表現は、聞き手を含まない「私たち」を表す言葉です。

例文1の場合、A さん一家があさって一家で鵡川に行く予定になっていて、お母さんが息子に「あさって私たちは鵡川に行くことになってるんだよ」と説明する時にこの言い方になります。もし**パイェアン** paye=an ではなく、**パイェアシ** paye=as と言ったならば、それを聞かされた息子は鵡川には行かず、お父さんとお母さんだけが鵡川に行くというようなことになります。もしくは、A さんが、鵡川に行くことについて、関係ないB さんに説明する時もこの言い方になります。

例文にある**パイェ** paye「行く」、**イペ** ipe「食事する」、「仕事をする」、**ウコイタク** ukoytak「話をし合う」は、ステップ20と同じように、自動詞とよばれるタイプの動詞です。これらの動詞の後ろに「**アン** =an」をつけると、聞き手を含めて「私たちが～する」という表現になります。

他動詞の場合とは、動詞につく位置と形が異なる（参考：ステップ16）ので注意する必要があります。

シニ sini「～が遊ぶ」＋**アン** =an　→　**シニアン** sini=an「私たちが休む」

この他にも、「**アン** =an」はさまざまな表現で用いられます。詳しくはおいおい勉強していきましょう。

ステップ22 「～で」「～に」位置を表す格助詞

（例文）

1. ヌプキペッ　タ　クネプキ。
   Nupkipet　ta　ku=nepki.
   貫気別　で　私・働く
   「貫気別で私は働く（働いている）」

2. ウパシ　カ　タ　イセポ　テレケ。
   Upas　ka　ta　isepo　terke.
   雪　上　で　ウサギ　跳ねる
   「雪の上でウサギが跳ねる」

3. チセ　オッタ　シニ　ヤン。
   Cise　or ta　sini　yan.
   家　ところ　で　休み　なさい
   「家で休みなさい」

4. オヌマン　サラパ　ウン　ホシッパアシ。
   Onuman　Sarpa　un　hosippa=as.
   夕方　去場　に　戻る・私たち
   「夕方、去場に私たちは戻る」

5. ペッ　オルン　パイェアン　ロ！
   Pet　or un　paye=an　ro!
   川　ところ　に　行く・私たち　しよう
   「川（のところ）に行きましょう」

（学習内容とポイント）

場所•行き先を示す表現

日本語の「〇〇で」「〇〇に」「〇〇へ」と同じ言葉がアイヌ語にはあります。**タ** ta と**ウン** un がそれです。

タ ta は、動作が行われる場所や行き先を示し，日本語では「で」「に」に相当します。ただし、地名などの固有名詞と、**カ** ka「上」・**オンナイ** onnay「中」・**コッチャ** kotca「前」・**チョロポク** corpok「下」・**サム** sam「そば」などの位置関係を示す名詞（位置名詞）などのあとには、**タ** ta を使いますが、それ以外の**チセ** cise「家」や**ペッ** pet「川」をはじめとする普通の名詞のあとには、**オロ** or をはさみ、そのあとに**タ** ta が入ります。そして、**オロ＋タ**は通常音がつながって**オッタ**という発音になります。しかし、ローマ字では、or ta ともとの音をそのまま表記するのが通例です。

ですので、

✕**チセ　タ** cise ta「家で」
✕**ペッ　タ** pet ta「川で」

という言い方はできません。それぞれ**チセ　オッタ** cise or ta、**ペッ　オッタ** pet or ta という言い方になります。

ウン un も、動作が行われる方向を示す言葉で日本語の「へ」に相当します。これも**タ** ta 同様、固有名詞や位置名詞のあと以外は、**オロ** or をはさみます。**オロウン** or un は、通常**オルン**と発音しますが、ローマ字ではそのまま or un と書くのが普通です。

単語を覚えよう11　～山や海に関する言葉～

1.	ヌプリ	nupuri	「山」
2.	ペッ	pet	「川」
3.	ト	to	「湖」
4.	アトゞイ	atuy	「海」
5.	ニタイ	nítay	「森」
6.	ソ	so	「滝」
7.	シラㇲ	sirar	「岩」
8.	オタ	ota	「砂浜」
9.	ヤ	ya	「おか、陸」
10.	レプ	rep	「沖」

言葉遊びで覚えよう 11

静内地方

◇静内の言葉　神窓に関すること

イナウクシプヤラ　カムイクシプヤラ　イタックシプヤラ　プヤラサンカ　エン
inaw kus puyar,　kamuy kus puyar,　itak kus puyar,　puyar sanka　en
木の御幣のとおる窓、神のとおる窓、言葉のとおる窓窓に向って

イタクリキンテアン　ワネ ヤクン、　アポロセ　ロク イタク
itakrikinte=an　wa ne yakun　a=porse　rok itak
私たちが言葉を奉りましたら、私たちが唱えました言葉

イタクカシカムイ　イタクセレマカオイナレ　キ　ワ　ウンコレ　キ　ヤン。
itakkaskamuy　itaksermakaoynare　ki　wa　un=kore　ki　yan!
言葉の魂を尊重してください。

（語り：葛野辰次郎さん）

☆この言葉を掲載するにあたり、『平成 11 年度アイヌ語ラジオ講座テキスト』vol.4 を参照しました。

ステップ23　数に関する表現1（数連体詞、個数、11以上）

（例文）

1. シネ　マキリ　クコロ。
   Sine　makiri　ku=kor.
   1本の　小刀　私・持つ
   「1本の小刀を私は持っている」

2. イワン　イタンキ　クホク。
   Iwan　itanki　ku=hok.
   6つの　お椀　私・買う
   「6つのお椀を私は買う」

3. ニヌム　アシクネプ　エンコレ　ヤン。
   Ninum　asiknep　en=kore　yan.
   クルミ　5つ　私に・くれる　しなさい
   「クルミを5つ私にください」

4. タン コタン　タアシクネ　チセ　イカシマ　ワン　チセ　アン。
   Tan kotan　ta asike　cise　ikasma　wan　cise　an.
   この　村　に　5つの　家　あまり　10の　家　ある
   「この村には15軒の家がある」

（学習内容とポイント）

数を表す言葉

アイヌ語の数を表す言葉は、ものや人を表す名詞と結びつきます。**チャペ** cape「猫」を例にして、1から10までの数を表すと次のようになります。

シネ チャペ sine cape「1匹の猫」
ト゜チャペ tu cape「2匹の猫」
レ チャペ re cape「3匹の猫」
イネ チャペ ine cape「4匹の猫」
アシクネ チャペ asikne cape「5匹の猫」
イワン チャペ iwan cape「6匹の猫」
アラワン チャペ arwan cape「7匹の猫」
ト゜ペサン チャペ tupesan cape「8匹の猫」
シネペサン チャペ sinepesan cape「9匹の猫」
ワン　チャペ wan cape「10匹の猫」

上で紹介した数を表す言葉に、「もの」を表す「**プ** p」や「**ペ** pe」をつけると「ひとつ」「ふたつ」という意味になります。「**プ** p」も「**ペ** pe」も意味は同じです。

シネ sine や**ト゜** tu のように母音で終わる形には「**プ** p」がつき、**イワン** iwan のように子音で終わる形には「**ペ** pe」がつきます。

日本語では、動物だったら「匹」「頭」、鳥だったら「羽」、物だったら「個」「本」「枚」などと形状によって数え方がいろいろありますが、アイヌ語では多くの場合、区別はなく、同じ数え方になります。たとえば**シネ　マキリ** sine makiri なら「1本の小刀」、**シネ　チャペ** sine cape なら「1匹の猫」、**シネ　チカプ** sine cikap なら「1羽の鳥」などと、何を指しているかによって日本語訳が変わりますが、アイヌ語ではすべて**シネ** sine　○○という言い方になります。

シネプ	sinep	「ひとつ」	**イワンペ**	iwanpe	「むっつ」
ト゜プ	tup	「ふたつ」	**アラワンペ**	arwanpe	「ななつ」
レプ	rep	「みっつ」	**ト゜ペサンペ**	tupesanpe	「やっつ」
イネプ	inep	「よっつ」	**シネペサンペ**	sinepesanpe	「ここのつ」
アシクネプ	asiknep	「いつつ」	**ワンペ**	wanpe	「とお」

なお、5から10までは短い言い方があって、**アシク** asik「いつつ」、**イワン** iwan「むっつ」、**アラワン** arwan「ななつ」、**ト゜ペシ** tupes「やっつ」、**シネペシ** sinepes「ここのつ」、**ワン** wan「とお」とも言います。

シネ セタ sine seta「1匹の犬」に対して、**セタ シネプ** seta sinep「犬1匹」と表現することもできます。

11以上の数え方

11 以上になると、**シネプ　イカシマ　ワンペ** sinep ikasma wanpe「1 個あまる 10 個（＝11個）」や**ト゜チャペ イカシマ ワン チャペ** tu cape ikasma wan cape「2 匹の猫あまる 10 匹の猫（＝12匹の猫）」のような表現がされます。

ステップ24　数に関する表現2（日数、年数、人数、回数など）

（例文）

1. ト゛ッコ　レレコ　モペッ　タ　レウシアシ。
   Tutko　rerko　Mopet　ta　rewsi=as.
   2日　3日　門別　に　泊まる・私たち
   「2、3日門別に私たちは泊まる」

2. シコッ　タ　ワン　パ　カン　ルウェ　ネ。
   Sikot　ta　wan　pa　k=an　ruwe　ne.
   千歳　に　10　年　私・いる　こと　だ
   「千歳に10年私はいる」

3. ウシケシ　ウン　アラスイ　カラパ　アムキリ。
   Uskes　un　arsuy　k=arpa　amkir.
   函館　に　一度　私・行く　したことある
   「函館に一度私は行ったことある」

4. ピラト゛ル　ワ　オッカヨ　ト゛ン　エク。
   Piratur　wa　okkayo　tun　ek.
   平取　から　男　2人　来る
   「平取から男の人が2人来る」

（学習内容とポイント）

数え方のいろいろ

日数を数える場合には、**ト** to「日」という言葉が用いられますが、2日と3日は**ト** to「日」を使わない言い方になっています。また年数を数える場合には、**パ** pa「年」という言葉が用いられます。

シネ ト sine to「1 日」　**ト゜ッコ** tutko 「2 日」　**レレコ** rerko 「3 日」
シネ パ sine pa「1 年」　**ト゜パ** tu pa 「2年」　**レ パ** re pa 「3 年」

人数を数える場合には、1から5までは終わりが「ン -n」、6から10までは「ニウ -niw」という形の言葉になります。

シネン	sinen	「1人」	**イワニウ**	iwaniw	「6人」
ト゜ン	tun	「2人」	**アラワニウ**	arwaniw	「7人」
レン	ren	「3人」	**ト゜ペサニウ**	tupesaniw	「8人」
イネン	inen	「4人」	**シネペサニウ**	sinepesaniw	「9人」
アシクネン	asiknen	「5人」	**ワニウ**	waniw	「10人」

回数を表す場合には、**スイ** suy「回」という言葉が用いられます。なお、「1回」は**シネ スイ** sine suy と言わずに、例文3のように**アラスイ** arsuy と表現します。

アラスイ arsuy「1 回」　**ト゜スイ** tu suy「2 回」　**レ スイ** re suy「3 回」

単語を覚えよう 12　～天候に関する言葉～

1.	トカプチュプ	tókapcup	「太陽」
2.	クンネチュプ	kunne cup	「月」
3.	ニシ	nis	「雲」
4.	ニソロ	nisor	「空」
5.	ノチウ	nociw	「星」
6.	アプト	apto	「雨」
7.	レラ	réra	「風」
8.	ウパシ	upas	「雪」
9.	カムイフム	kamuyhum	「雷」
10.	シリピリカ	sirpirka	「天気が良い」

言葉遊びで覚えよう 12

◇ガンバの冒険

ガンバガンバ　ガンバガンバ

カイクマ　テレケナ　ガンバ　シクント゜スッ　ネ　ナ　ガンバ
kaykuma　terkena　ガンバ　sikuntusut　ne　na　ガンバ
波がおどるよ　ガンバ　水平線だよガンバ

ガンバ　ガンバ　ガンバ　ネワ　ウタリヒ
ガンバ　ガンバ　ガンバ　newa　utarihi
ガンバガンバ　ガンバとなかまたち

エサラ　エタリ　ホホホ！　ホホホ！　オシカンペ　エシト゜レンテ
e=sara　etari　hohoho!　hohoho!　oskampe　e=siturente
しっぽをたてろホホホ！ホホホ！　あほうどりがついていく

トアンタ　モシリ　アン ナ　モシリ　アンナ　ガンバ
toan ta　mosir　an na　mosir　an na　ガンバ
島が見えるよガンバ　島が見えるよガンバ

ガンバ　ガンバ　ガンバ　ネワ　ウタリヒ
ガンバ　ガンバ　ガンバ　newa　utarihi
ガンバガンバ　ガンバとなかまたち

☆ 1975 年に大ヒットしたアニメーション『ガンバの冒険』の主題歌をアイヌ語訳しました。知らない人は昭和 40 年～ 50 年うまれの人に聞いてみてください。

ステップ25　動詞の単数・複数

（例文）

1. スムンコッ　ワ　シネ　ヘカチ　エク。
   Sumunkot　wa　sine　hekaci　ek.
   紫雲古津　から　1人の　少年　来る
   「紫雲古津から1人の少年が来る（来た）」

2. フチ　ウタラ　ポロンノ　アラキ。
   Huci　utar　poronno　arki.
   おばあさん　たち　たくさん　来る
   「おばあさんたちがたくさん来る（来た）」

3. ニサッタ　サラプト゜　ウン　エアラパ？
   Nisatta　Sarputu　un　e=arpa?
   明日　富川　へ　あなた・行く
   「明日富川にあなたは行きますか？」

4. ヌマン　ヌプルペッ　タ　エチパイェ？
   Numan　Nupurpet　ta　eci=paye?
   昨日　登別　に　あなたたち・行く
   「昨日登別にあなたたちは行きましたか？」

（学習内容とポイント）

単数と複数

アイヌ語の動詞には、単数と複数の区別があるものが多数あります。

例文1,2のように、「来る」には単数（**エク** ek）と複数（**アラキ** arki）の区別が、例文3,4のように「行く」には単数（**アラパ** arpa）と複数（**パイェ** paye）の区別があります。

1人もしくは1個（匹･頭･羽…などなど）の場合は単数を使い、2人もしくは2個（匹･頭･羽…などなど）の場合は複数を使います。

主語が「私たち」「あなたたち」のように2人以上の場合は、当然動詞は複数形になります。ですから、✕**エチアラパ** eci=arpa「あなたたちが行く」とか✕**エパイェ** e=paye「あなたが行く」という言い方はありません。

一方、**アプカシ** apkas「歩く」や**イペ** ipe「食事する」、**モコロ** mokor「眠る」など、単数と複数の区別がない動詞もたくさんあり、これらの動詞は主語が単数でも複数でも同じ形です。

動詞には、単数形と複数形で形が全く変わるものと、形の一部のみが変わるものがあります。

以下、一部の動詞の単数･複数の形をあげます。

［単数］		［複数］		
エク	ek	**アラキ**	arki	「来る」
アン	an	**オカ**	oka	「ある、いる」
アラパ	arpa	**パイェ**	paye	「行く」
ア	a	**ロク**	rok	「座る」
アシ	as	**ロシキ**	roski	「立つ」
サン	san	**サプ**	sap	「下る」
ラン	ran	**ラプ**	rap	「降りる」
ホプニ	hopuni	**ホプンパ**	hopumpa	「起き上がる」
ホシピ	hosipi	**ホシッパ**	hosippa	「戻る」

ステップ26　疑問詞を用いた疑問表現 1

（例文）

1. トアン　クル　フンナ　アン？
   Toan　kur　hunna　an?
   あの　人　誰　だ
   「あの人は誰なの？」

2. タヌクラン　ヘマンタ　エチエ？
   Tanukuran　hemanta　eci=e?
   今晩　何　あなたたち・食べる
   「今晩何をあなたたちは食べるの？」

3. ヘンパク　パ　スムンコッ　タ　エアン？
   Hempak　pa　Sumunkot　ta　e=an?
   いくつの　年　紫雲古津　に　あなた・いる
   「何年紫雲古津にあなたはいますか？」

4. シントコ　ヘンパク　ペ　アン？
   Sintoko　hempak　pe　an?
   行器　いくつ　もの　ある
   「行器（ほかい）はいくつありますか？」

5. イナン　シノッチャ　エエラマス？
   Inan　sinotca　e=eramasu?
   どちらの　歌　あなた・好き
   「どちらの歌があなたは好きですか？」

（学習内容とポイント）

疑問詞を用いた表現 1

アイヌ語には、「誰」「何」のような疑問を表す言葉（疑問詞）を用いたさまざまな表現があります。このステップでは次の疑問詞について説明します。

フンナ　hunna　「誰」
ヘマンタ　hemanta　「何」
ヘンパク　hempak　「いくつの」
イナン　inan　「どちらの」

例文1や2のように、**フンナ** hunna「誰」、**ヘマンタ** hemanta「何」は、動詞より前に置かれ、さまざな疑問を表します。

また、例文3 ～ 5のように、**ヘンパク** hempak「いくつの」、**イナン** inan「どちらの」は名詞の前に置かれます。

ヘンパク hempak のあとは、物でも人間でも生き物でも使えますので、場合によって**ヘンパク　スウォプ** hempak suwop「何個の箱」、**ヘンパク　ポ** hempak po「何人の子供」、**ヘンパク　ウンマ** hempak umma「何頭の馬」のように、いろいろな訳になります。

例文4の**ヘンパク　ペ** hempak pe（いくつの　もの）という言い方は、物や生き物ならどれにでも使えます。人間の場合、**ヘンパキウ** hempakiw「何人」という言い方を使います。

単語を覚えよう13　～儀礼に関する言葉～

1.	カムイノミ	kamuynomi	「お祈り」
2.	イチャㇲパ	icarpa	「先祖供養」
3.	ヌサ	nusa	「祭壇」
4.	イクパスイ	ikupasuy	「奉酒箸 , 献酒箸」
5.	イナウ	inaw	「木幣」
6.	オンカミ	onkami	「拝礼」
7.	トノト	tonoto	「酒」
8.	ト゜キ	túki	「杯」
9.	イヨマレ	iomare	「お酌」
10.	トマ	toma	「ゴザ」

言葉遊びで覚えよう 13

白糠地方

◇白糠のカモメの歌

エエエアウワ　エエエアウワ　ネンパク　ポ　エコロ　ヤ？
e e e aw wa　e e e aw wa　nenpak　po　e=kor　ya?
何人の子を　お前は持ってるの？

エエエアウワ　エエエアウワ　トゥポ　シタ　クコロ　ネ。
e e e aw wa　e e e aw wa　tu po　sta　ku=kor　ne.
２人の子　私は持ってるよ。

エエエアウワ　エエエアウワ　シネ　ポ　エンコレ。
e e e aw wa　e e e aw wa　sine　po　en=kore.
１人の子を　私におくれ。

エエエアウワ　エエエアウワ　ネンパク　ポンチェプ　エパ　ヤ？
e e e aw wa　e e e aw wa　nenpak　poncep　e=pa　ya?
何匹の　小魚を　お前は見つけた？

エエエアウワ　エエエアウワ　トゥ　ポンチェプ　クパ　ネ。
e e e aw wa　e e e aw wa　tu　poncep　ku=pa　ne.
２匹の　小魚　私は見つけたよ。

エエエアウワ　エエエアウワ　シネ　ポンチェプ　エンエレ。
e e e aw wa　e e e aw wa　sine　poncep　en=ere.
１匹の　小魚を　私におくれ。

☆この歌を収録するにあたり、平良智子・田村雅史ほか編『冨水慶一採録 四宅ヤエの伝承　歌謡・散文編』（『四宅ヤエの伝承』刊行会、2007 年）を参照しました。

ステップ27　疑問詞を用いた疑問表現 2

（例文）

1. ハポ　フナク　タ　アン？
   Hapo　hunak　ta　an?
   お母さん　どこ　に　いる
   「お母さんはどこにいるの？」

2. フナクン　エアラパ？
   Hunak un　e=arpa?
   どこ　へ　あなた・行く
   「どこへあなたは行くの？」

3. チタタプ　マカナク　アカラ？
   Citatap　makanak　a=kar?
   サケの叩き　どのように　私たち・作る
   「サケの叩きはどのように作るんですか？」

4. ヘンパラ　エチアラキ　ルウェ　アン？
   Hempara　eci=arki　ruwe　an?
   いつ　あなたたち・来る
   「いつあなたたちは来たんですか？」

5. ヘマンタ　クス　タン　トペンペ　ソモ　エエ？
   Hemanta　kusu　tan　topenpe　somo　e=e?
   何　ために　この　お菓子　（否定）　あなた・食べる
   「どうしてこのお菓子をあなたは食べないんですか？」

（学習内容とポイント）

疑問詞を用いた表現 2

このステップでは以下の疑問詞について説明します。

フナク hunak「どこ」　場所をたずねる時

※**ヒナ**ク hinak と発音する地域もあります

マカナク makanak「どのように」やり方･方法をたずねる時

※**マ**ク mak という言い方もあります

ヘンパラ hempara「いつ」　時間をたずねる時

ヘマンタ　クス hemanta kusu「なぜ」　理由をたずねる時

例文にみられるように、これらの言葉は、動詞より前に置かれ、さまざな疑問を表します。

例文2にあるように、**フナク　ウン**（どこ　へ）は音をつなげて**フナクン**と発音されることが多いです。

疑問詞を用いた疑問文の文末には、例文4のように**ルウェ　アン** ruwe an などの表現が用いられることがあります。

ステップ28 「～の…」所有の表現 1

（例文）

1. クシキヒ　マヤイケ。
   Ku=sikihi　mayayke.
   私の・目　かゆい
   「私は目がかゆい」

2. ヌマン　カキヒ　カンピソシ　ポロンノ　ホク。
   Numan　k=akihi　kampisos　poronno　hok.
   昨日　私・弟　本　たくさん　買う
   「昨日私の弟は本をたくさん買った」

3. エサパハ　ピリカ　ルウェ！
   E=sapaha　pirka　ruwe!
   あなた・頭　よい　こと
   「あなたは頭がいいね！」

4. エチテケヘ　イチャッケレ。
   Eci=tekehe　icakkere.
   あなたたち・手　汚い
   「あなたたちの手は汚い」

5. トアン　フチ　オトピ　レタラ。
   Toan　huci　otopi　retar.
   あの　おばあさん　髪　白い
   「あのおばあさんの髪は白い」

（学習内容とポイント）

「～の…」所有の表現１

例文1 ～ 3のように、「**ク** ku=」「**エ** e=」と名詞を組み合わせると、「私の…」「あなたの…」という所有の表現となります。これは「私が…する」とか「あなたが…する」という表現と同じ言葉です。

例文2の**カキヒ** k=akihi は、**ク・アキヒ** ku=akihi の縮まった形です。ローマ字では u が消えます。

例文3は直訳すると「あなたの頭はいいね！」になりますが、日本語訳としてはより自然な「あなたは頭がいいね！」と訳してあります。

例文4のように「あなたたち」の場合は**エチ** eci= を使います。

「私」や「あなた」以外の第三者の場合は、例文5のように**フチ　オトピ** huci otopi「おばあさんの髪」のように、「持ち主・身体の部分」の順に並べて表現します。日本語の「の」に相当する言葉はありません。

単語を覚えよう14　～手仕事に関する言葉～

1.	アッ	at	「オヒョウニレの皮」
2.	ニペシ	nipes	「シナの繊維」
3.	シキナ	sikina	「ガマ」
4.	カ	ka	「糸」
5.	カタク	kátak	「糸玉」
6.	カニッ	kánit	「糸まき棒」
7.	イテセニ	iteseni	「ゴザ編み台」
8.	ピッ	pit	「ゴザ編みの石」
9.	ケム	kem	「針」
10.	イシタイキプ	isitaykip	「布を織る道具」

言葉遊びで覚えよう 14

◇からだの歌

① パケ　エトゝ　シキ　チャロ　キサラハ　ナヌフ
pake　etu　siki　caro　kisaraha　nanuhu
あたま　はな　め　くち　みみ　かお

オトピヒ　レクチ　テケヘ　ホニヒ
otopihi　rekuci　tekehe　honihi
かみのけ　のど　て　おなか

コッカ　パラウレ　チキリ　オソロ
kokka　parawre　cikiri　osoro
ひざ　あし(あしくびからさき)　あし(あしぜんぶ)　おしり

② アトゝポキ　シットケウェ　アシケペチ　アミヒ
atupoki　sittokewe　askepeci　amihi
わきのした　ひじ　ゆび　つめ

テッコトロ　ペンラム　パルンペ　イマキ
tekkotoro　penramu　parunpe　imaki
てのひら　むないた　した　は

ラル　ハンカプイェ　イッケウェ　セトゥル
raru　hankapuye　ikkewe　seturu
まゆげ　おへそ　こし　せなか

☆輪唱で有名な「しずかな湖畔の森のかげから」のメロディーを使って、身体名称を歌詞にした歌を作りました。

☆歌詞に使われているアイヌ語は、主に釧路･白糠方言（不明な部分は美幌方言）を使っています。

☆身体のあちこちを指さしながら、楽しく歌いましょう。

（アイヌ語詞:北原次郎太）

ステップ29 「～の…」所有の表現２

（例文）

1. クコㅁ　ハポ　イルㅅカ。
   Ku=kor　hapo　iruska.
   私・持つ　母　怒る
   「私の母は怒っている」

2. エコㅁ　セタ　ヘンパㄱ　ペ　アン？
   E=kor　seta　hempak　pe　an?
   あなた・持つ　イヌ　いくつの　もの　いる
   「あなたのイヌは何匹いるの？」

3. クコッ　チセ　シノ　ポン。
   Ku=kor　cise　sino　pon.
   私・持つ　家　とても　小さい
   「私の家はとても小さい」

4. アチャポ　コㅁ　マキリ　エエン。
   Acapo　kor　makiri　een.
   おじさん　持つ　小刀　鋭い
   「おじさんの小刀は鋭い」

（学習内容とポイント）

「～の…」所有の表現 2

「～の…」という所有関係を表現する場合には、動詞**コロ** kor「持つ」が用いることもあります。この「**コロ** kor」を用いた表現は、おもに、物・動物に用いられます。

また、**エカシ** ekasi「おじいさん」・**フチ** huci「おばあさん」・**ハポ** hapo「お母さん」など、家族についても使います。

「私」や「あなた」以外の第三者の場合は、例文4のように、「持ち主・持つ・物」の順に並べます。

例文3の**コッ　チセ**は、**コロ　チセ**の**コロ**の発音が変わった形です。**コロ** kor の**ロ** r は、タ行（タ・チ・ト゜・テ・ト、ローマ字では r もしくは c）の前でッという発音に変わることがよくあります。ただしローマ字では発音が変わっても kor と書くのが通例です。

ステップ30 「…できる」「…できない」「…したい」の表現

（例文）

1. クコロ　フチ　アイヌイタク　イェ　エアシカイ。
   Ku=kor　huci　Aynuitak　ye　easkay.
   私・持つ　祖母　アイヌ語　話す　できる
   「私の祖母はアイヌ語を話すことができる」

2. イカラカラ　ケアシカイ。
   Ikarkar　k=easkay.
   刺繍　私・できる
   「私は刺繍ができる」

3. トノト　ククエアイカプ。
   Tonoto　ku=ku　eaykap.
   お酒　私・飲む　できない
   「お酒を私は飲むことができない」

4. トキヨ　ウン　エチパイェ　ルスイ？
   Tokiyo　un　eci=paye　rusuy?
   東京　に　あなたたち・行く　したい
   「東京にあなたたちは行きたいですか？」

（学習内容とポイント）

「…できる」「…できない」能力の表現

例文1のように、動詞**イェ** ye「話す」の後に**エアシカイ** easkay「できる」を置いて、アイヌ語を「話せる」ことを表現します。

例文2のように**エアシカイ** easkay に**ク** ku= を直接つけて「私は…ができる」という言い方もできます。ただし、**ク・エアシカイ** ku=easkay は、音がつながって**ケアシカイ** k=easkay という発音になるのが普通です。

例文3のように、動詞**ク** ku「飲む」の後に**エアイカプ** eaykap「できない」を置いて、「飲めない」ことを表現します。

「…したい」願望の表現

例文3のように、動詞**パイェ** paye（複数形）「行く」の後に**ルスイ** rusuy「したい」を置いて「行きたい」ことを表現します。

単語を覚えよう 15　～伝統芸能に関する言葉～

1.	ユカラ	yúkar	「英雄叙事詩」
2.	レプニ	repni	「拍子木」
3.	カムイユカラ	kamuyyukar	「神謡」
4.	サケヘ	sakehe	「折節」
5.	ウウェペケレ	uwepeker	「散文で語る物語」
6.	ヤイサマネナ	yaysamanena	「即興歌」
7.	イヨンノッカ	iyonnokka	「子守歌」
8.	シノッチャ	sinotca	「歌」
9.	ホリピ ホリッパ	horipi horippa	「踊り（単数）」 「踊り（複数）」
10.	タプカラ	tapkar	「男性の踏舞」

言葉遊びで覚えよう 15

◇美幌地方　サマイクルのイム

ライクル ライクル。　コンル　カ　タ　クオシッテス。
raykur raykur.　konru　ka　ta　ku=osittesu.
ちくしょうめちくしょうめ。　氷の上で　転んだぞ。

コンル　ヌプル　シリ　タン　ネ。コンル　ヌプル　マヌ？　チュプ　ルレ。
konru　nupur　siri　tan　ne. konru　nupur　manu? cup　rure.
氷が上手（うわて）だからさ。　氷が上手だって？　太陽が溶かすぞ。

チュプ　ヌプル　シリ　タン　ネ。チュプ　ヌプル　マヌ？　カシ　ニシ　クシ。
cup　nupur　siri　tan　ne. cup　nupur　manu? kasi　nis　kus.
太陽が上手だからさ。　太陽が上手だ？　上を雲が通るぞ。

ニシ　ヌプル　シリ　タン　ネ。ニシ　ヌプル　マヌ？　レラ　チャリ。
nis　nupur　siri　tan　ne. nis　nupur　manu? rera　cari.
雲が上手だからさ。　雲が上手だ？　風が散らすぞ。

レラ　ヌプル　シリ　タン　ネ。レラ　ヌプル　マヌ？　ペシ　テシパ。
rera　nupur　siri　tan　ne. rera　nupur　manu? pes　tespa.
風が上手だからさ。　風が上手だ？　土手が反らすぞ。

ペシ　ヌプル　シリ　タン　ネ。ペシ　ヌプル　マヌ？　カシケ　ワ　ニ　トゥク。
pes　nupur　siri　tan　ne. pes　nupur　manu? kaske　wa　ni　tuk.
土手が上手だからさ。　土手が上手だ？　上から木がはえるぞ。

ニ　ヌプル　シリ　タン　ネ。ニ　ヌプル　マヌ？　アイヌ　タ　ワ　アペコロ。
ni　nupur　siri　tan　ne. ni　nupur　manu? aynu　ta　wa　apekor.
木が上手だからさ。　木が上手だ？　人間が切って火を焚くぞ。

アイヌ　ヌプル　シリ　タン　ネ。
aynu　nupur　siri　tan　ne.
人間が上手だからさ。

アイヌ　ヌプル　マヌ？　イパカリプ　オロワ　アンパカリ。
aynu　nupur　manu? ipakarip　orowa　an=pakari.
人間が上手だ？　化物に化かされるぞ。

イパカリプ　ヌプル　シリ　タン　ネ。
ipakarip　nupur　siri　tan　ne.
化物が上手だからさ。

イパカリプ　ヌプル　マヌ？　コタン　トゥイ。
ipakarip　nupur　manu? kotan　tuy.
化物が上手だって？　村が絶えるよ。

☆この歌の収録にあたって、日本放送協会放送文化研究所・日本コロムビア (1949)『アイヌ歌謡集　第 8 集』を参照しました。

ステップ31 「…して…する」動作をつなぐ表現1

（例文）

1. ウナラペ　シッチャシヌレ　ワ　ソイネ。
Unarpe　sitcasnure　wa　soyne.
おばさん　掃除する　そして　外に出る
「おばさんは掃除をして外に出た」

2. クイルシカ　ワ　クポホ　チシ。
Ku=iruska　wa　ku=poho　cis.
私・怒る　そして　私・息子　泣く
「私が怒って私の息子は泣いた」

3. ペコ　ネノ　クホッケ　ワ　カン。
Peko　neno　ku=hotke　wa　k=an.
牛　のように　私・横になる　そして　私・いる
「牛のように私は横になっている」

4. トペンペ　オピッタ　ケ　ワ　イサム。
Topenpe　opitta　k=e　wa　isam.
お菓子　全部　私・食べる　そして　なくなった
「お菓子は全部私が食べてなくなった」

（学習内容とポイント）

連続した動作の表現

例文1のように、**ワ** wa の前の文の出来事の次に、**ワ** wa の後の文の出来事が起ることを示しています。例文1では、「掃除する」「外に出る」という出来事がこの順番に起こったことを表しています。日本語訳は「掃除して外に出た」となっています。

例文2は「私が怒る」という出来事と、「私の息子が泣く」という出来事が連続して起こったことを表しています。

例文3の**クホッケ　ワ　カン** ku=hotke wa k=an は、私が**ホッケ** hotke「横になる」という動作をしたあと、そのままの状態で私が「いる」という意味で、日本語訳は「私は横になっている」となります。厳密には「私は横になって私はいる」という訳になります。

この場合、**クホッケ　ワ　アン** ku=hotke wa an のように、**カン** k=an「私はいる」を**アン** an「いる」にしてはいけません。

例文4のように、**～ワ　イサム** wa isam は「～」という動作の結果、何かがなくなってしまった、という時に使います。よく使う表現です。「～してしまった」という訳になることもあります。

ステップ32 「…しながら…する」動作をつなぐ表現2

（例文）

1. クミチ　シノッチャキ　コロ　アプカシ。
Ku=mici　sinotcaki　kor　apkas.
私・父　歌う　しながら　歩く
「私の父は歌いながら歩く」

2. クトクイェ　アンノシキ　パクノ　ネプキ　コロ　アン。
Ku=tokuye　annoski　pakno　nepki　kor　an.
私・友達　夜中　まで　働く　しながら　いる
「私の友達は夜中まで働いている」

3. ウンマ　ウタラ　ホユッパ　コロ　オカ。
Umma　utar　hoyuppa　kor　oka.
馬　たち　走る　しながら　いる
「馬たちが走っている」

4. クコロ　セタ　エク　コロ　アン。
Ku=kor　seta　ek　kor　an.
私の持つ　犬　来る　しながら　いる
「私の犬が来ようとしている（来ている）」

（学習内容とポイント）

進行中の動作の表現

このステップで勉強するのは「…しながら…する」という、２つの動作が同時に行われている時に言葉をつなぐ**コロ** kor の使い方です。

コロ kor には「持つ」という意味もありますが、「～しながら」「～しつつ」という意味もあります。

例文2のように、**～コロ　アン** kor an は、「～」という動作をしながら、その状態でいるという意味で、日本語訳は「～している」となることが多いです。「私が働いている」ならば、**クネプキ　コロ　カン** ku=nepki kor k=an となりますが、この場合、**ネプキ** nepki「働く」と**アン** an「いる」のそれぞれに「私」の意味の**ク** ku= がつきます。**クアン** ku=an は、音が縮まって**カン** k=an になることに注意してください。

例文3のように、動作主が複数の場合は、動詞もそれぞれ複数形になります。単数形の場合、**ホユプ　コロ　アン** hoyupu kor an になります。

今回習う、**～コロ　アン** kor an と、ステップ31で習った**～ワ　アン** wa an は、どちらも「～している」という日本語になることが多いですが、意味がまったく違うので気をつけてください。

例文4の**エク　コロ　アン** ek kor an は、今「来つつある」時の言い方です。これを**エク　ワ　アン** ek wa an と言うと、もうすでに「来て（ここに）いる」という意味になります。「来る」という動作が進行中なのか、もうすでに完了しているのかによって言い方が変わるわけです。

参考文献

萱野茂（1995）『萱野茂のアイヌ語辞典』三省堂

萱野茂ほか（1987）『萱野茂　アイヌ語会話　初級編』カムイト゜ラノ協会

佐藤知己（2008）『アイヌ語文法の基礎』大学書林

田村すず子（1996）『アイヌ語沙流方言辞典』草風館

田村すゞ子（2013）『アイヌ語の世界』吉川弘文館

田村すず子ほか編（1984 ～ 2000）『アイヌ語音声資料　1 ～ 12』早稲田大学語学教育研究所

田村すず子（1985）『アイヌ語入門（改訂版)』早稲田大学語学教育研究所

田村すず子（1997）「アイヌ語」『日本列島の言語』三省堂

中川裕（1996）『アイヌ語千歳方言辞典』草風館

服部四郎ほか編（1964）『アイヌ語方言辞典』岩波書店

本田優子（2001）「川上まつ子アイヌ語文例集」『アイヌ民族博物館研究報告　第7号』アイヌ民族博物館

初級アイヌ語　―沙流―

発行年月　2016 年3月

発　　行　公益財団法人アイヌ文化振興･研究推進機構
〒 060-0001
北海道札幌市中央区北 1 条西 7 丁目プレスト 1･7　5階
TEL（011）271-4171　　FAX（011）271-4181
URL　http://www.frpac.or.jp　E-mail:ainu@frpac.or.jp

印　　刷　株式会社北海道機関紙印刷所

公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構